

平成23年度 市民協働のまちづくりアンケート調査結果 (住民組織)

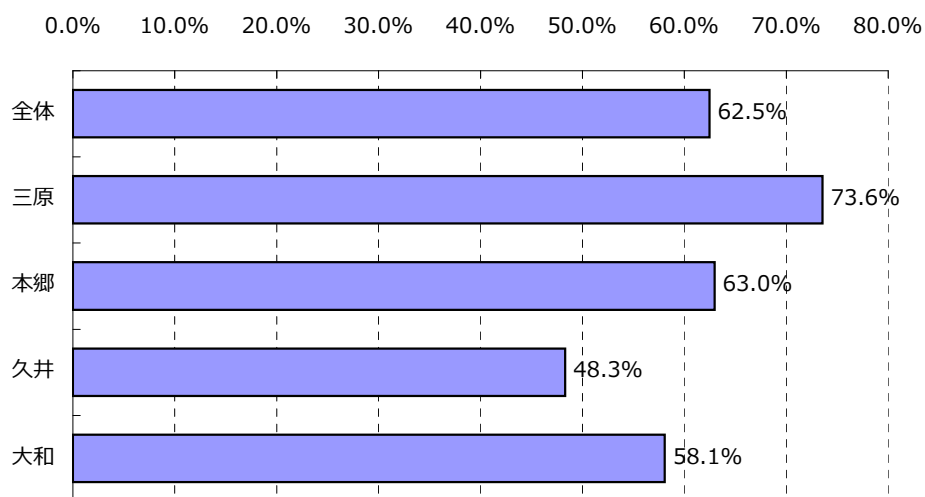
【調査期間】 平成23年10月5日～17日

【対象者】 住民組織 (525組織)

回収率

	回答数	割合(全体)	地域の提出率		
全体	328	100.0%	62.5%		
三原	153	46.6%	73.6%		
本郷	68	20.7%	63.0%		
久井	71	21.6%	48.3%	合計	回収率
大和	36	11.0%	58.1%	328	62.5%

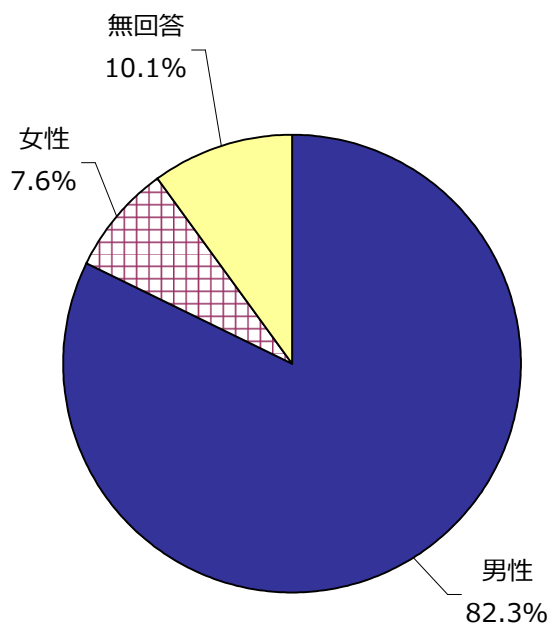
【回収率】



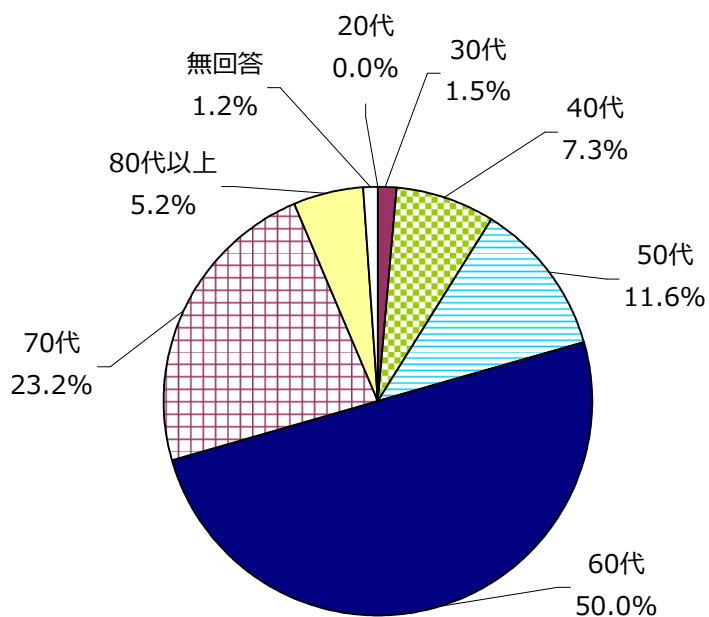
【問1】あなた自身(住民組織代表者)のことについてお尋ねします。あてはまるものに○をしてください。

住民組織の代表者の性別は圧倒的に男性が多く、82.6%であった。年齢は60代が50.0%，続いて70代が23.2%となっていた。一方で40代は7.3%，30代は1.5%と少数であった。

【性別】

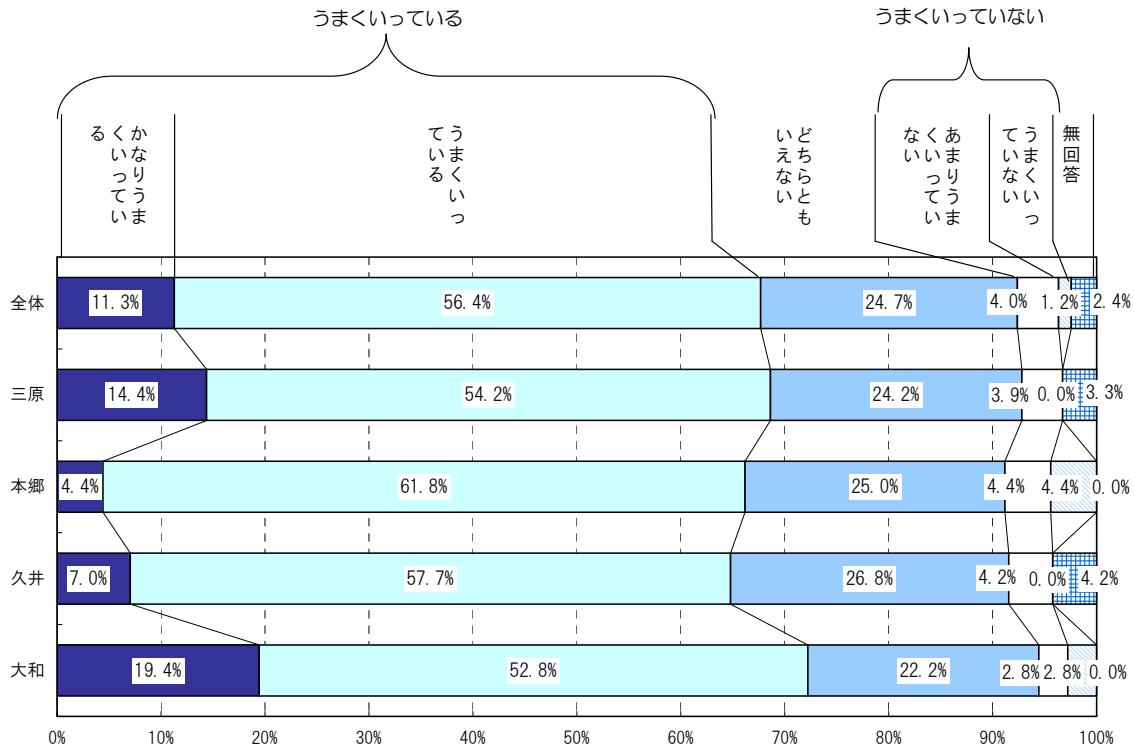


【年齢】

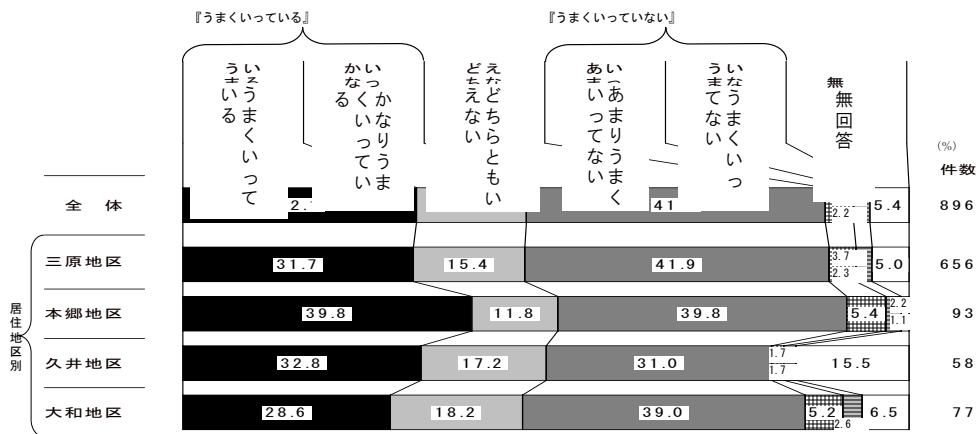


【問2】 あなたがお住まいの地域における地域活動はうまくいっていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

全体の結果として、「かなりうまくいっている」「うまくいっている」を合わせて67.7%の住民組織が、地域活動はうまくいっていると回答した。地域別に見ても、うまくいっているという回答は60%以上であった。一方で、「どちらともいえない」と回答した住民組織もそれぞれ20%以上あった。

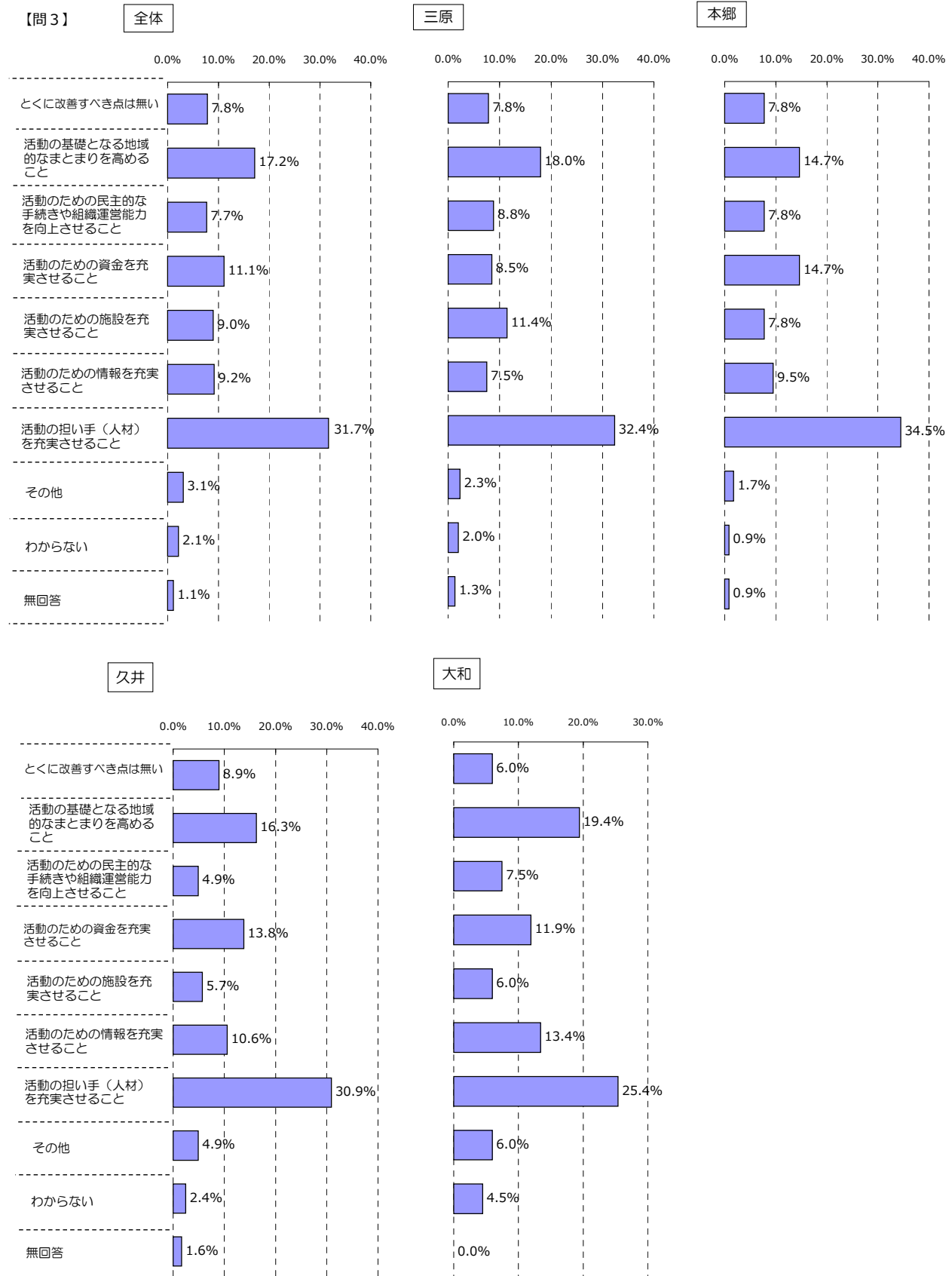


【平成19年度調査】
※ただし市民を対象とした調査



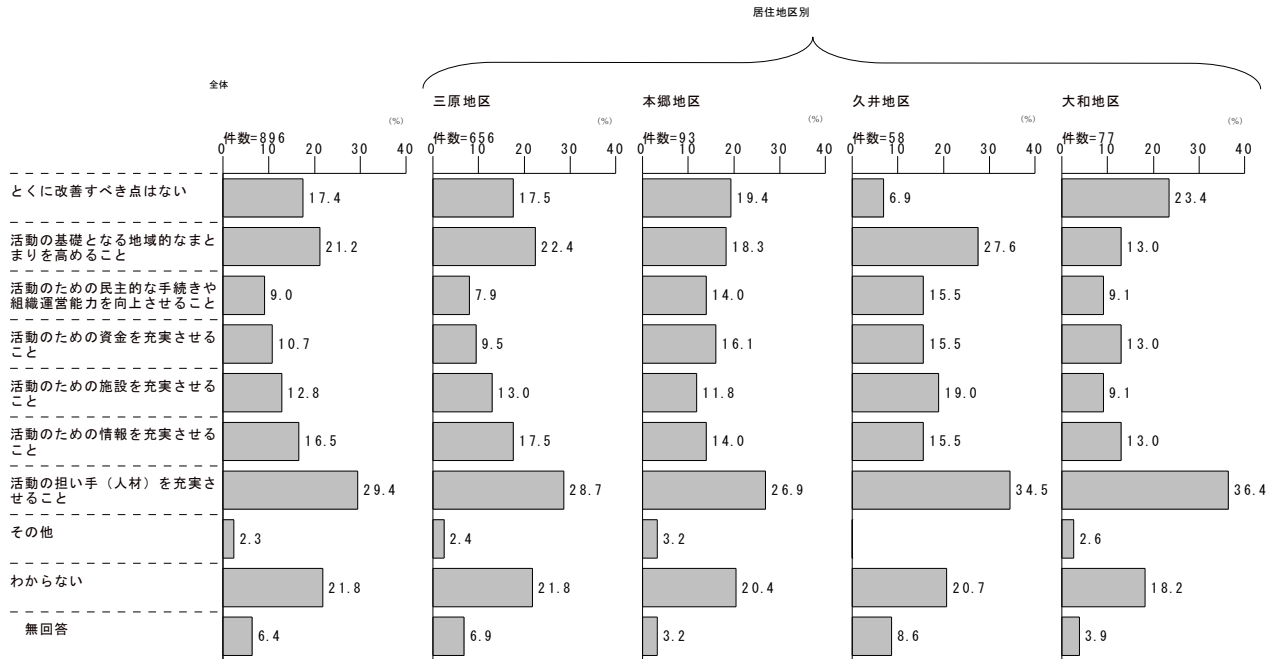
【問3】 あなたがお住まいの地域における地域活動について、改善すべき点があるとすればそれは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「活動の担い手（人材）を充実させること」が全体で31.7%となっており、他の項目と比較すると飛びぬけて多くなっていた。続いて多かったのは「活動の基礎となる地域的なまとまりを高めること」で17.2%、「活動のための資金を充実させること」で11.1%となっていた。地域毎に若干の差はあるものの、どの項目もほぼ同じような割合であった。



【平成19年度調査】

※ただし市民を対象とした調査

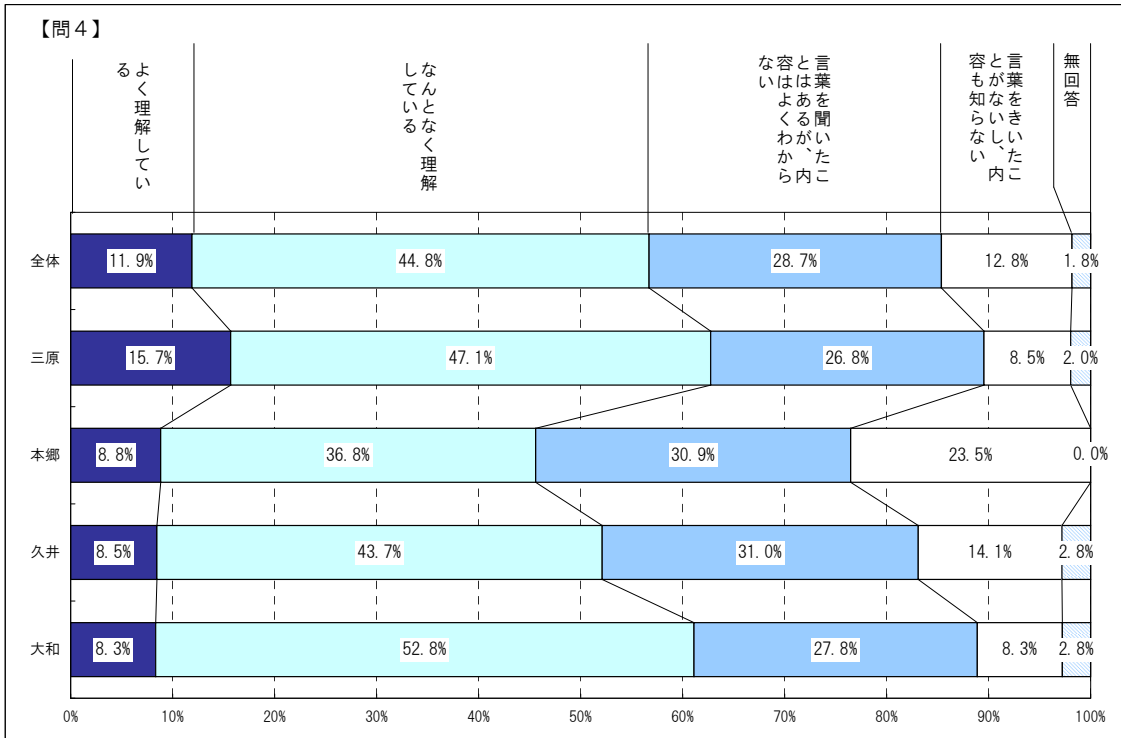


【問3】 8.その他

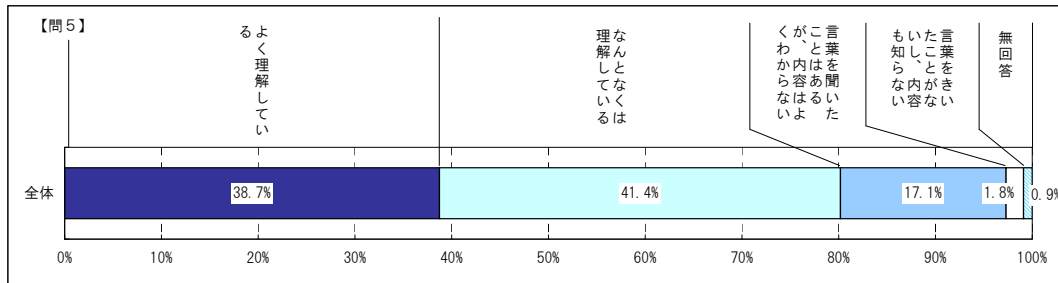
- ・(7について)リーダーの高齢化と若年層とのギャップの早期解消を要す
- ・若者の担い手が少なく、活気が足りないのが一番の悩み
- ・子どもが少なくなってきており(私の頃の1/5位)活気が無くなってきている
- ・活動日が多すぎて不満がある
- ・納所地区に4町内会有り。ひとつの町内会にまとめたい
- ・住民の大半が高齢者で活動できる人がいない
- ・宮浦コミュニティセンターを借りているが2階が集会所となっており、足が悪い年寄りが2階に上がってこれない状況がある。敬老会を開催した時も、同じ理由で欠席した会員がいた
- ・町内会役員の輪番制。高齢化が進む中で役職の当番がくると町内会組織を退会する現状にある
- ・活動の担い手が居ない地区が出ている
- ・住民の意識の醸成
- ・3年以内にすべての住民が退去するので特になし
- ・高齢化が進んでいて改善のしようがない
- ・地域が限界集の条件を越えている為活動が出来にくい
- ・高齢化が多くなっているためむずかしくなっている
- ・高齢化のため活動が充分できない
- ・地域の役員・委員になってくれる人が居ない
- ・高齢者ばかりで何も出来ない
- ・後継の役員がいない
- ・寄附行為が多すぎる

【問4】あなたは「市民協働」についてどのくらい理解していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

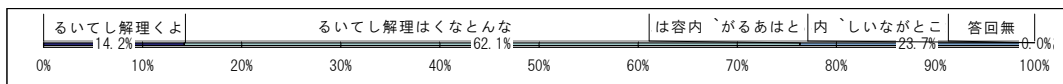
「なんとなく理解している」が最も多く、全体で44.8%であった。「よく理解している」と合わせると56.7%であり、半数以上が理解していることが分かる。一方で、「言葉を聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が28.7%、「言葉を聞いたことがないし、内容も知らない」が12.8%となっており、合わせて41.5%がよくわからないと回答していた。



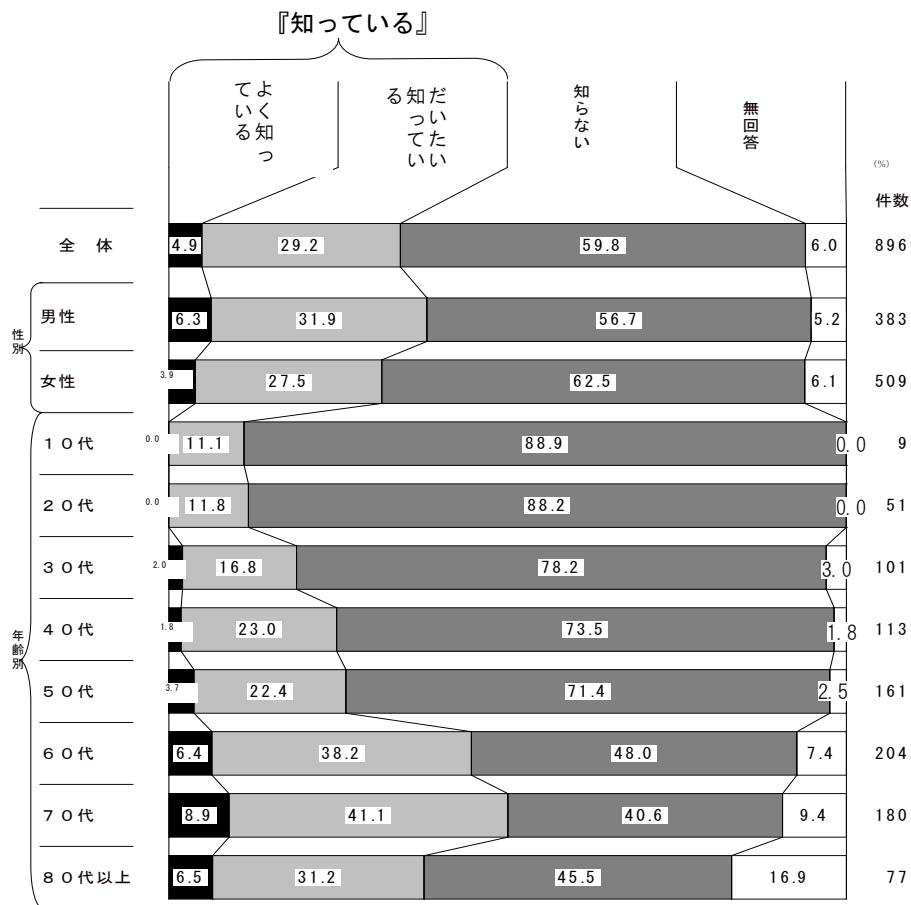
【H23 市民活動団体】



【H22 職員アンケート】

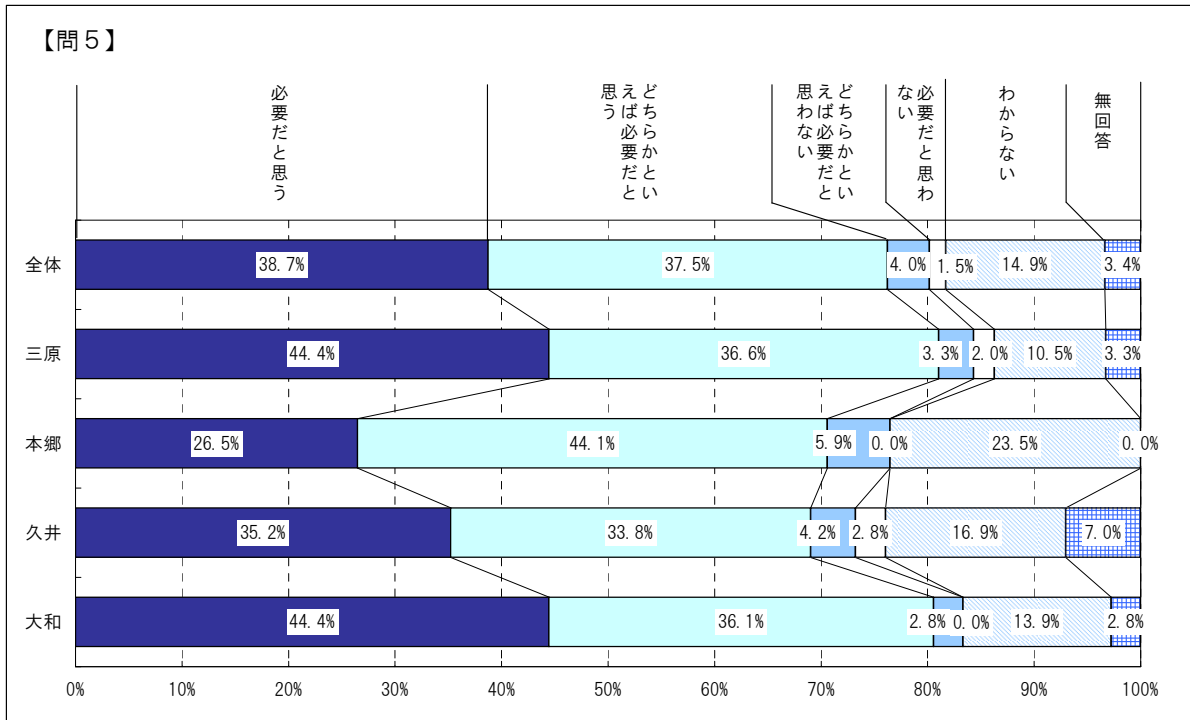


【平成19年度調査】
 ※ただし市民を対象とした調査で、「あなたは『市民協働』という言葉をご存知でしたか」という設問

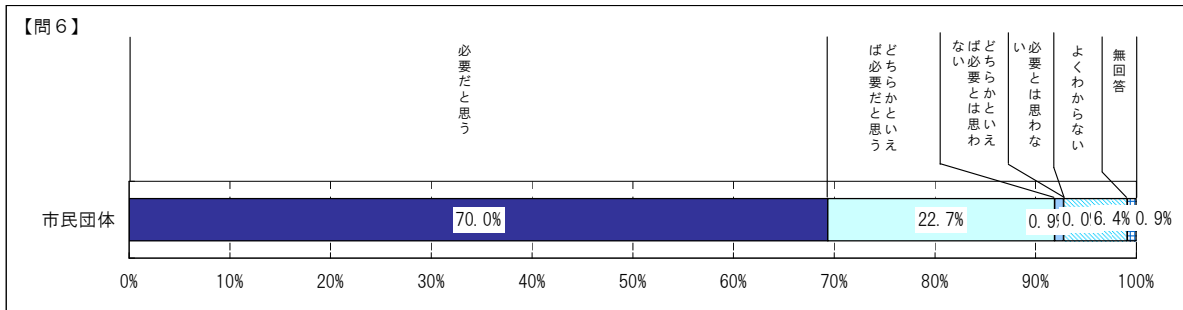


【問5】三原市において、市民協働のまちづくりを推進していくことについてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

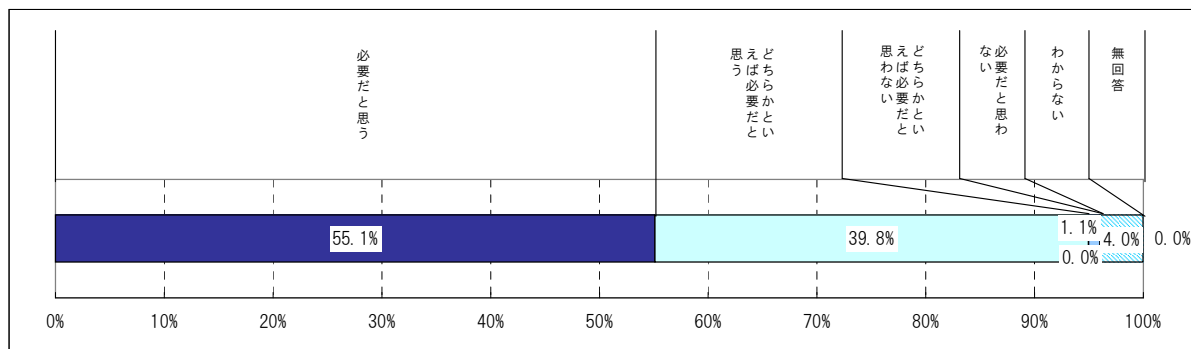
「必要だと思う」が全体で38.7%、「どちらかといえば必要だと思う」が37.5%となっており、合わせて76.2%が必要であると回答した。地域別に見ると、三原地域、大和地域に関しては80%以上が必要であると回答していた。一方で、「わからない」という回答も全体で14.9%で、職員・市民団体アンケートと比較すると最も多くなっていた。



【H23 市民活動団体】

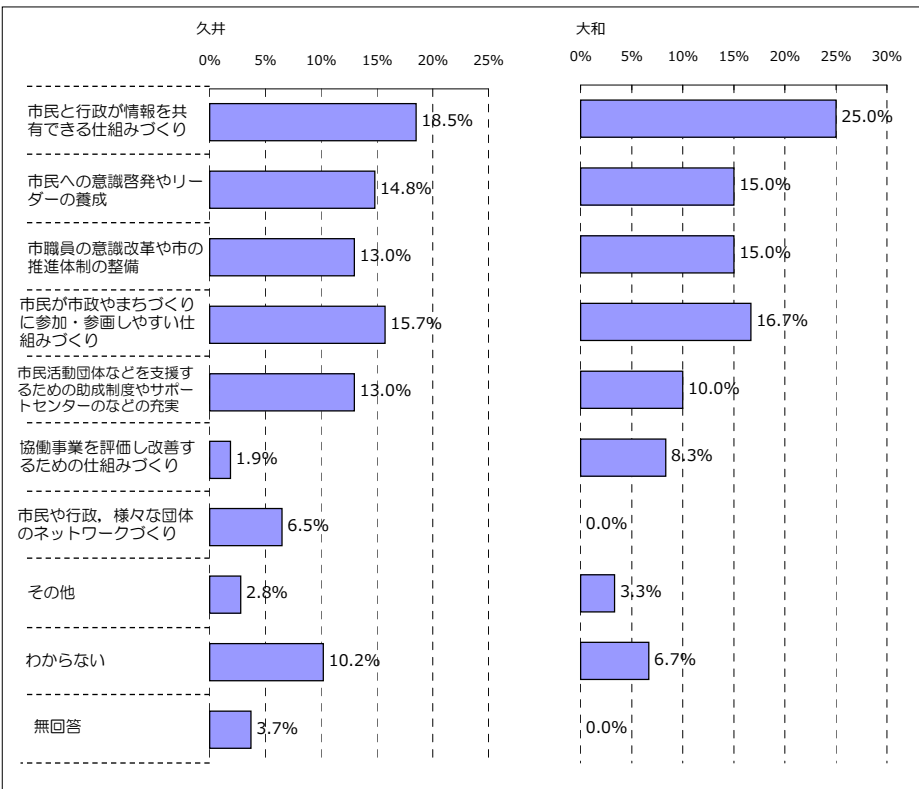
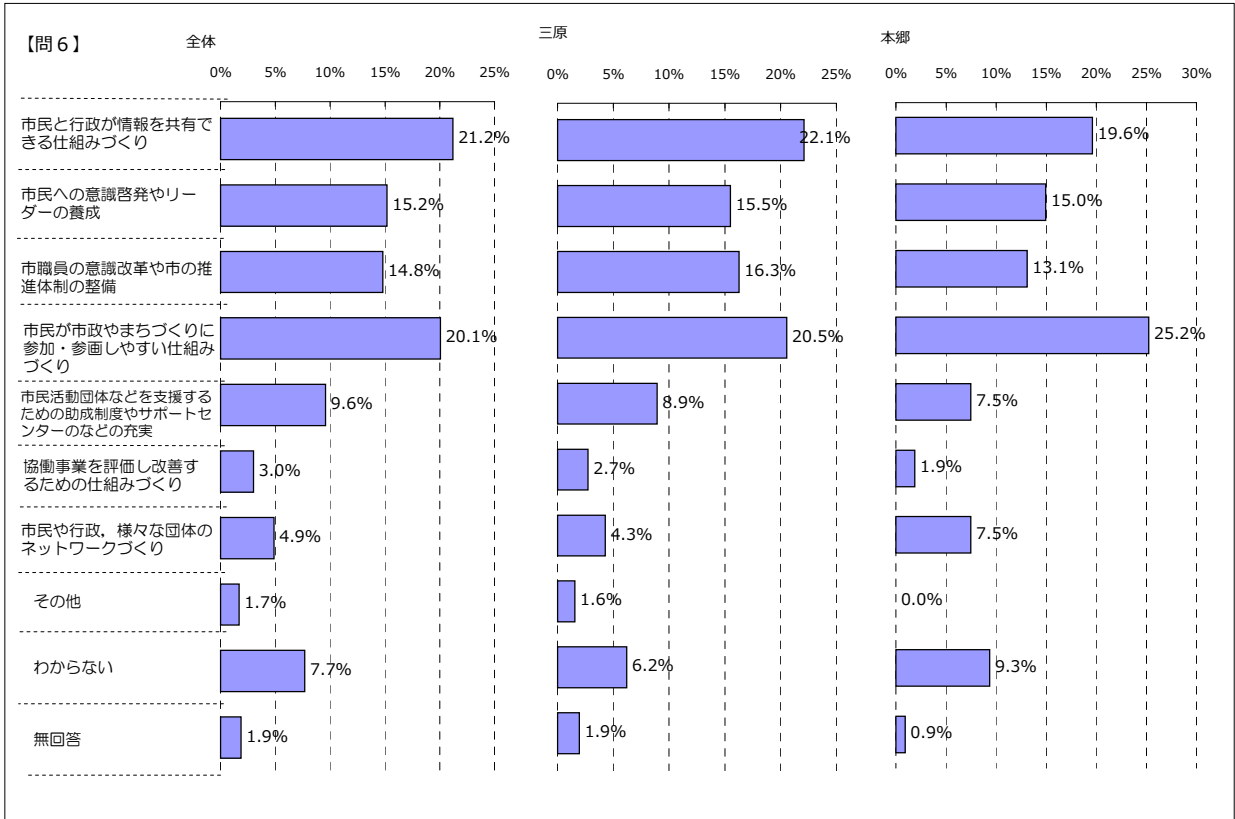


【H22 職員アンケート】



【問6】あなたは、市民協働のまちづくりを推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は2つまで)

「市民と行政が情報を共有できる仕組みづくり」が全体で21.2%と最も多く、続いて「市民が市政やまちづくりに参加・参画しやすい仕組みづくり」が20.1%となっていた。その他の項目については、地域毎に多少の差はあるものの、どの地域もほぼ同様な割合であった。ただし、大和地域に関しては「市民や行政、様々な団体とのネットワークづくり」が0.0%となっていた。

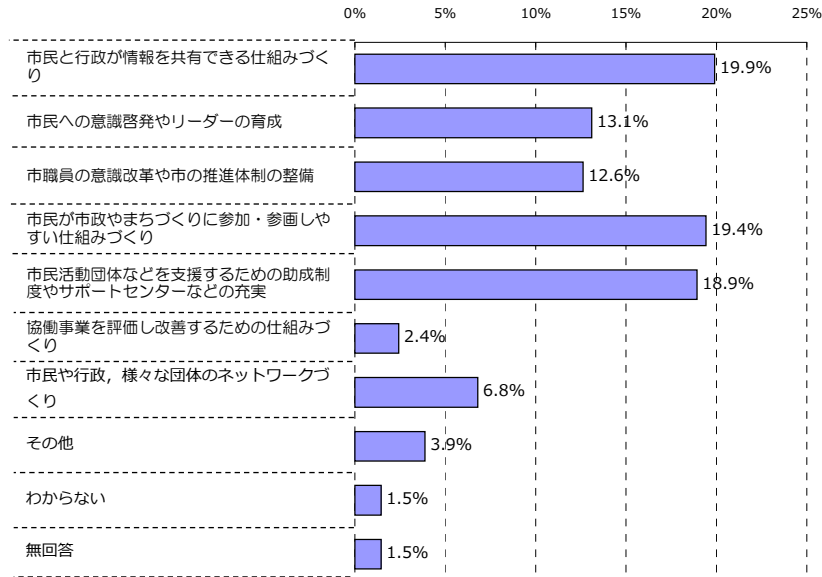


【問6】 8.その他

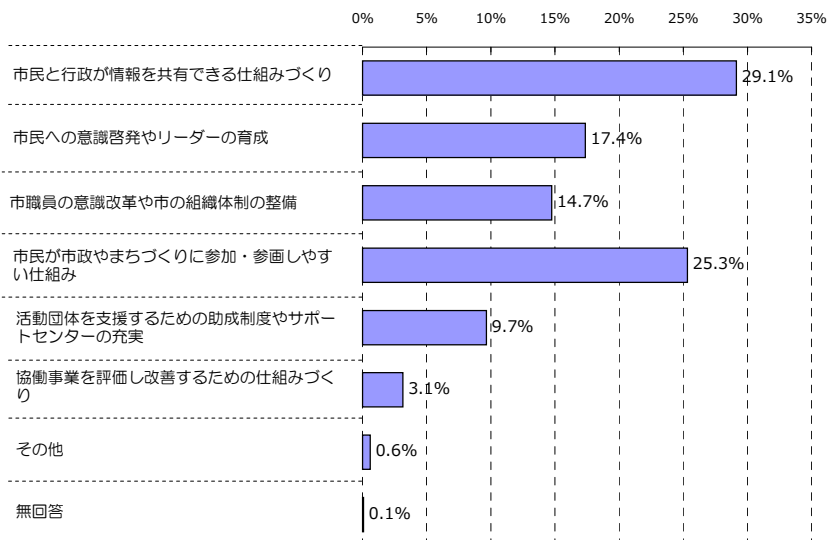
- ・地域の団体は市の下請けの様に思われているのでは？
- ・行政の強いリーダーシップ、構想の明確化
- ・市の職員が町内会等の組織に積極的に参加し「市民協働」の推進役となる
- ・市民が余りに意識が無いのではと思える
- ・協働の意味がわからない。市民に何を要求しているの？共に手をたすさえ行政と市民が街を良くして行くのですか
- ・余分な税金を使わない

【H23 市民活動団体】

【問7】

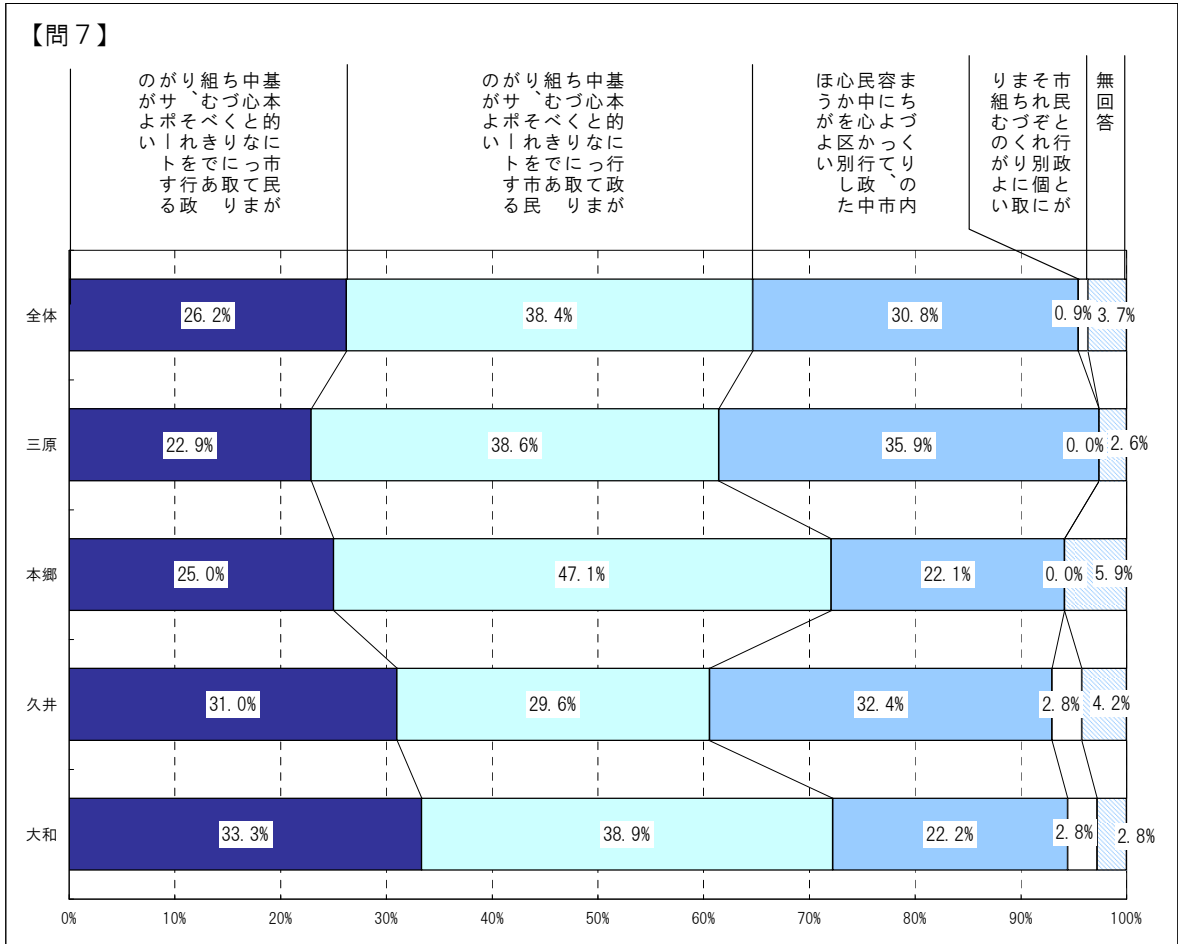


【H22 職員アンケート】

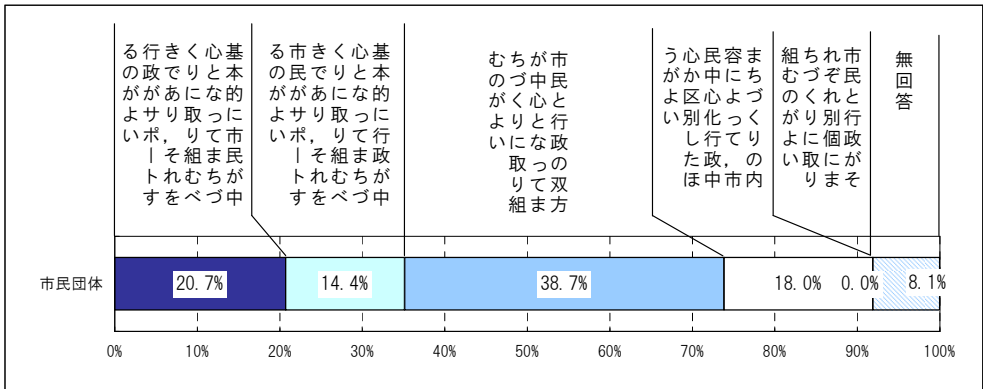


【問7】あなたのお住まいの地域におけるまちづくりについて、「市民と行政との協働」はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

「基本的に行政が中心となってまちづくりに取り組むべきであり、それを市民がサポートするのがよい」が全体で38.4%と最も多かった。これを地域別に見ると、本郷地域が47.1%と最も多く、久井地域が29.6%と最も少なくなっていた。「まちづくりの内容によって市民中心か行政中心かを区別したほうがよい」も全体で30.8%、地域別に見ても20~30%が回答していた。

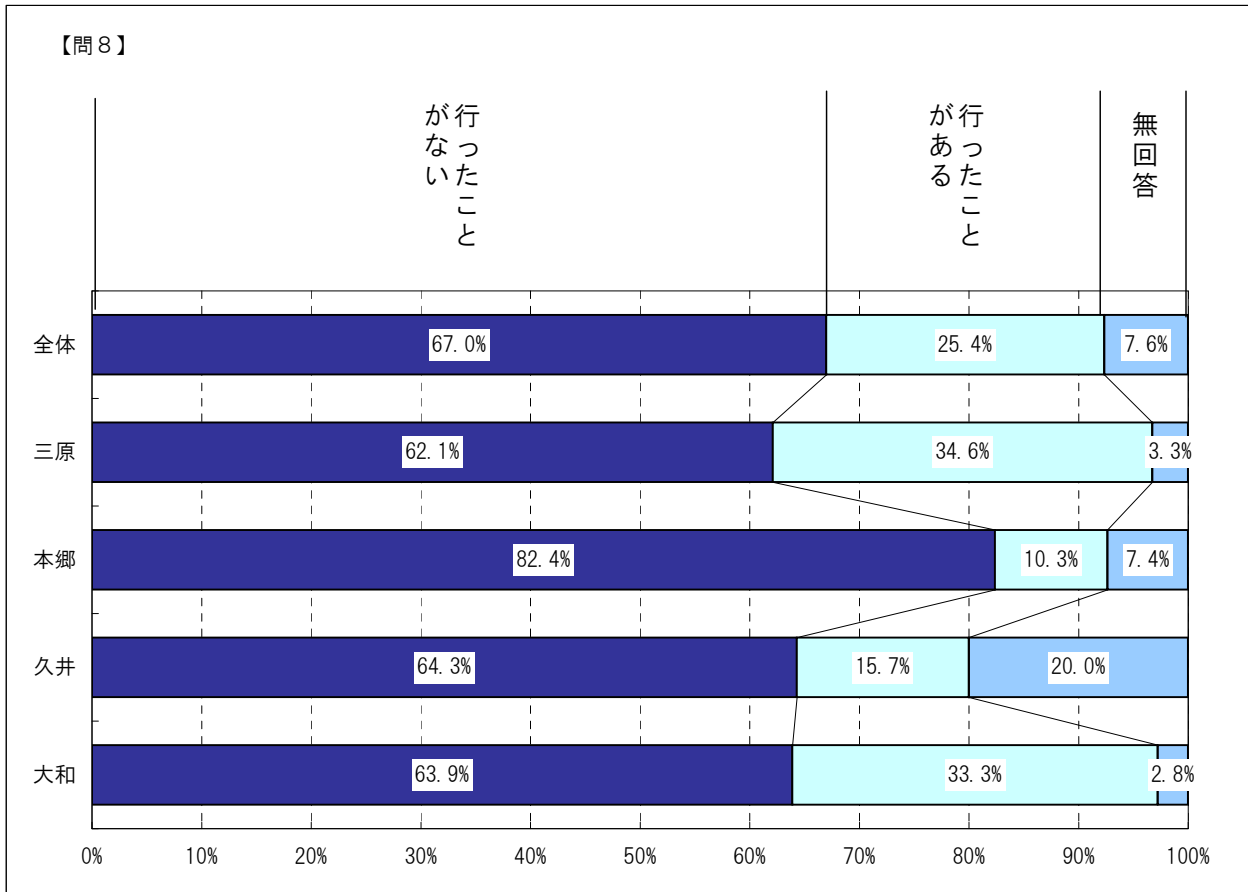


【H23 市民活動団体】



【問8】 あなたの組織において、行政や地域の各種団体等と協働で活動を行ったことがありますか。あてはまるものに○をし、「行ったことがある」と答えた方は、どのような団体とどのような活動を行ったのかをお書きください。

「行ったことがない」が全体で67.0%となっており、地域別に見ると本郷地域が82.4%と飛びぬけて多くなっていた。行ったことがある組織についてはその内容を別紙にまとめた。



問8 あなたの住民組織において、行政や地域の各種団体と協働で活動を行ったことがありますか。あてはまるものに○をし、「行ったことがある」と答えた方は、どのような団体とどのような活動を行ったのかをお書きください。	
協働した団体	内容
1	対策本部、港湾課、下水道課、土木管理課など 福祉課、市民生活課など 災害時の連携→高潮による 高齢者福祉
2	社協 出前講座実施：転倒防止等 三原警察署 出前講座実施：防犯
3	地域活動（文化・スポーツ）
4	三原市赤十字奉仕団、三原市ボランティア連絡協議会、三原市自主防災組織連絡協議会、三原市消防本部、糸崎消防団、三原市、三菱三原病院、三原市第一民生区、三原市防災ネットワーク 防災訓練（初期消火、AED指導、スモーク体験、応急手当、土のう作り、バケツリレー消化、炊き出し試食、講演会、避難誘導、安否確認、テント設営）
5	行政、ボランティア協議会 自主防災訓練を毎年実施中
6	三原市公衆衛生推進協議会 国道185号線沿いの空き缶、散乱ごみの回収キャンペーン 小学校関係 子供の見守り活動の一環として子供110番の設置等
7	幼稚園。小学校と町内会 合同体育大会他
8	J A女性部・蕩尽会・法人 白滝園
9	三原市消防署 防災訓練（初期消火、消火器の使い方、土のう作り、人口呼吸、ロープの締め方の指導を受けた）
10	空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン
11	幸崎町町内会連合会と幸陽船梁株式会社と三原市主催 H23年6月12日 空き缶等散乱ごみ追放キャンペーンへの参加
12	1, 市民体育大会 2, R185号沿いの空き缶, ゴミ拾い
13	三原市公衆衛生推進協議会 空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン
14	消防団 消防訓練 体協 市民大会練習・出場
15	元気さぎしま協議会 さぎしま活性化の為の活動
16	消防署・消防団 消防訓練
17	三原市立宮浦中学校・新倉町内会（町民老人クラブ） 毎年共同で地域の清掃作業を進めると共にふれあい活動を行っている
18	公園の清掃、市民運動会、地域社会の運動会への参加
19	新生会、町内会 空き缶キャンペーン 連合町内会 町民大会 ふるさと創生会、町内会 海開き さわやか会、親睦会、町内会 とんど祭り 連合町内会 歩行ラリー さわやか会、町内会 福祉祭り
20	田野浦地区（和田町、田野浦町、明神町、明神南、青葉台各町内会）スポーツ大会、スポーツ大会（町民大会、市民大会等）、沼田川リバーサイド活動へ参加

21	小学校・女性会・若返り会等	町民大会
	女性会	敬老会
	小学校・女性会・若返り会等	クリーンアップ高坂
22	他地区の町内会・自治会と	川掃除や体育大会
23		・防火訓練 ・町内Wakking（1年2回） ・認知症予防及びサポートの勉強会 その他いろいろとお世話になっています
24	三原市社会福祉協議会	新ひろしま地域の創造プロジェクト事業
		行政の支援を受けた活動（協働ではないと思う）
		防災訓練
25	下町内会・三菱社宅自治会・清水住宅自治会・中町内会	自主防災訓練
	三原市立第二中学校・下町内会	地域ふれあいクリーン活動
	広島県立三原東高等学校，下町内会	マイロード花壇整備
26	宮浦中学校	宮浦中学校の生徒さんと共に年に1回，地域の清掃活動を行っている
27		出前講座で「地域の防災力を高めよう」を話してもらった。必要に応じて出前講座を開きたい。
28	連合町内会	連合町内会組織で公園の清掃活動，体育祭，青少年育成活動（トンド祭）等を定期的に活動している（約20年になる）
29		消火訓練・敬老の日の祝い
30	消防	出前講座
31	①消防本部	救急法講座・消火訓練を実施
	②環境管理課	ゴミ分別収集講座を実施
32	地域まるごと福祉教育推進連絡協議会（沼田小学校，社会福祉協議会，三原慶雲寮，老人クラブ(沼田町)）	(1) そば作りの体験交流（そばまきから収穫祭まで） (2) 伝統文化伝承体験交流 (3) 明るい挨拶運動
33		天然記念物の保護など部分的にはある
34	教育委員会	市教育委員会とエヒメアヤメの草刈り，実・花の調査，見学会の当番等を行った
35	沼田西町エヒメアヤメ保存会	天然記念物「エヒメアヤメ」の保護活動
36		エヒメアヤメの保存活動
37	消防団	消防団との合同で消火訓練（山火事）
38	三原市高齢者福祉課，三原市社会福祉協議会	三原市高齢者福祉課，三原市社会福祉協議会の支援の介護予防普及啓発事業（楽々貯金クラブ）を三原ダイヤハイツ地域第一回を平成23年度活動を現在実施しています。参加者20名
39		沼田東町は，連合町内会を中心とした行動を行っています。住民組織活動補助金制度を活用し，協働の活動を行っています。
40		社団法人三原法人会第14回沼田川クリーンキャンペーン：清掃活動（空き缶・ゴミ等）

41	沼田東連合会	クリーン活動（毎年11月）：地域の道路のゴミ、空き缶ひろい
42	消防署	防火訓練
43		防災訓練は行政指導で1回1年様々やったが、継続出来ることが望ましい
44		防災訓練
45		やっさ祭りでエコの活動
46	三原市消防	三原市消防に協力していただく→初期消火訓練
		各行事（敬老会、宮浦第三公園清掃、おせち配付）等は行政及び社協から援助金を頂いているので、協働であると認識している。
47	環境管理課	ごみの説明会
48	町内会	同じ宮浦3丁目の南部町内会と共に一斉に町内清掃を行ったり、子ども会と運動して（南部と）廃品回収などを行っている
49		防災訓練
50	第三中学校	清掃活動
	宮沖・園一地域の町内会・自治会	運動会
51	明神会館管理運営委員会	文化祭・日常活動
	リバーサイド推進会	ウォーキング大会
	スポーツ推進会	運動会・市民大会
52		第3ブロックの行事。夏祭り、敬老会などの手伝い
53	三原市防災組織ネットワーク等	
54	本郷第3ブロック	本郷第3ブロックの防災活動に参加
55		本郷駅前の空き缶、ゴミ拾い（10/1きれいな三原まちづくり）
		北方夏まつり（8/13）
56		北方地区一斉クリーンキャンペーン（道路周辺の缶、ゴミ拾い、草刈等）
57	自主防災、危機管理室	自主防災、危機管理室主導での出前講座
58	小中学校児童・生徒の父兄会	小中学校児童・生徒の父兄と区民運動会でのバザーへの協力や運動会へ父兄会からの協力等。現在は運動会が人数の都合で中止になっている。
59		きれいなまちづくり条例スタートイベント、地域ケア体制構築モデル事業
60	青年会・女性会・壮年会・老人クラブ	夏祭り、秋祭り、敬老会
61		毎年2回道路沿いの空き缶やゴミを拾って集める。今年は市の職員さんも参加された
62		町内クリーン作戦
63	消防北部分署	地域の（黒郷自治会生活安全）防災計画の参加に消防北部分署に来ていただいて火災の避難訓練のやり方、人工呼吸の仕方など教わったことです
64		防災訓練
65	子ども会	子ども会等との交流、奉仕、スポーツ大会等
66		地域全体？での環境整備活動
66		行ったことがあると思いますが、よく分かりません
67	坂井原自治区	防災訓練

68	久井町グラウンドゴルフ協会坂井原支部	三世代交流グラウンドゴルフ大会
69		協働？ 交通安全テント村にて交通安全を啓発，大和町町づくり協議会にて運動，ウォーキング等実施
70	行政	大和町自治振興会ではデマンドタクシーなど行政と地域団体活動を行っています
71	自治組織	
72	社会福祉協議会	生き生き活動
73	中山間振興会	地域での親睦行事，研修会，農道整備等の資金の出費を中山間地域直接支払い交付金から行っている
74		大和町自治会でデマンドタクシーの県で松枝方面に視察にいった
75	自治振興区	敬老行事（毎年）
76	行政，農協，大和町自治振興連合会	大和元気祭り
77		三原市市民体育大会，大和元気祭り，公民館ふれあい祭り，榎梨小学校放課後子供教室，公衆衛生推進協議会事業
78	三原消防署	防災訓練
79	社会福祉協議会	みまわり隊の結成

問9 市民協働のまちづくりについて、次の(1)～(4)に関してご意見等をお書きください。

(1) 市民協働のまちづくりに対する期待

【期待する・望むことなど】

①双方の協働に期待する
地域の実態をつまびらかにして、行政と連携する
個人・地域・行政がそれぞれの役割を理解し、お互いに協働することが大切です。地域では「自分たちの町は自分たちで守りつくる」を合言葉に暮らしの安心と安全のために防災力を高め地域住民への意識の高揚を図るとともに、災害に強く安全で安心して暮らしやすい町づくりに期待しています。
市民と行政の町づくりに対する意識向上により住みやすい町づくりを期待する
連絡・協働の為にネットワークづくり
各町内会の活性化に向け、自助・共助・公助の判断が出来る事。
町民と行政が情報を共有出来る行事等が速やかに解る様な盛り上がりがあること
現状では基本的には行政が中心になってまちづくりに取り組んで行きながら市民が中心（各自治体）になってまちづくりの推進していくことが理想だと思う。そういう体制をつくってほしい
町内で生活を維持する市民と、行政が連携をより深めながら、まちづくりに取り組んでいただけること。
将来の子供達に負の資産を残すのではなく、夢のもてるまちづくりを官民一体で、創造していければ、言うことはない
市民と行政が情報を共有できる仕組みづくり
市民個々が中心となって色々な行事に参加し、市民・行政が総対話し、本気で三原市の事、成功を考える事
地域住民・行政が協働し活動していけば必ず地域活性化すると思う
その地域、地域に合ったまちづくりが出来るように行政と市民が共に進めていけるよう推進してほしい

②行政に期待する
もう少し市民が目に見える町づくりに期待する
市職員の地域リーダーとしての活躍(OBを含め)
行政がリーダーとなって基本方針を決めて市民を引っ張って行って欲しい。市民のリーダーは十分育っていない
協働ということの理解が不十分なので答えになるかどうかわかりませんが、私の町内ではどんな行事も老人会がほとんど中心になっており、行政のサポートがもっとあればというより、行政のサポートが充実しないと、大きな取組みができないと思います。サポートの充実を期待します
最近の少子化、高齢化や防災、地域社会の個々の課題が問題になっております。そういうことから、地域と行政が一体となった一つのテーマへの参画は必要と考えます。そのためには、一方的なおしつけや計画ではなく、アイデアの提案や積極的な参画ができるような環境づくりが要るのでは？
最近では、向三軒向隣り、お互いさまの意識がうすれており、三原市ではボランティア活動等耳にしないうえであり、市民参画による住みよい町づくりをめざし、行政のリーダーシップのもと市民協働まちづくりが進められるとよい。最近、大企業の業務縮小、撤退等で若者の失業も多く、活気がないように思われる。スーパー等はたくさんあるが元気ある企業が少ないので、まちづくりは企業誘致からだと思う。
安全、安心の街づくりのため細かな行政の対応
市から派遣されて来られると、とても心強いです。これからも色々ご指導よろしくお願い致します。うちの町内会は積極的にたくさん集まってくれます。老人会が中尾会長のもとで、とてもしっかりしています。今まで色々町内会の役員をやった人が多いからです
市民、住民自治組織のアイデアあるいは豊かな発想による魅力ある町づくりを支援していただける行政であってほしい
①市民の要望等に市が迅速的確に対応してもらえる ②市民が身近な生活環境の改善向上に貢献できる喜びを感じる ③市民の連帯感、行政との信頼感が高まる
当自治体に於いては公園の整備、草刈り、清掃等はランドゴルフ同好会の男性5名で行っているが、今後の目標としては子供の遊び場は勿論ですが、お年寄りの憩いの場にしていきたいと頑張っています。そのためには休憩用の椅子、日陰作りをこれからの目標にしておりますが資金不足のため、市よりの援助を期待しています。
・市職員OBの意識が低いため、現役時代に市職員としてのあり方を検討してほしい ・OBの考え方で定年後は地域の一員との自覚がほしい ・現役時代の役職が障害となっている
行政が基本的なプラン等の思案の高揚に期待を願う
市職員の職責は2つあると思うがそのことの職員研修を深めることであると思う
問7.2「基本的に行政が中心となってまちづくりに取り組むべきであり、それを市民がサポートするのがよい」の実現

<p>地域住民の立ち上がりをサポートする行政のあり方 地域の人材をもっと活用すべき</p> <p>当地区には椋梨城址があり、地区で保存会をつくり年4～5回は草刈を年末には急傾斜の法面の草刈を行い、夏は城址でのラジオ体操、2年に1回は城まつりを行っているが、高齢化等で維持がむずかしいので行政の手助けが必要。</p> <p>行政サイドがどのような具体案をもっているか等々わかり易く市民に知らせ、広く理解を深めてゆくことがまちづくり推進の歩を進めることにつながるのではないかと。どんどん積極的に展開して欲しいものです。</p>

<p>③市民の意識の向上に期待する</p> <p>今後市による講演や啓発のチラシ等を通じて地域の人の意識向上が計られる方向を期待しています</p> <p>各個人の連帯強化と働きがい（充実感・達成感）の共有・自分達の町を愛する気持ちの向上</p> <p>市民の連帯意識向上に期待する</p> <p>協働のまちづくりに協力する市民意識の向上で、一部の市民に負担が増える事のないよう、幅広く参加できるようになると良いと思う</p> <p>行政から与えられて行う立場から、住民一人一人が自分達の町をどう作って行けば良いのか、どう変えなければならないのか考え、行動する次期に来ている。高齢化は大きな問題ではあるが、この人たちの力を如何に前向きに発揮出来るかを考える事が大切である</p> <p>住民一人一人の意識の向上</p> <p>より多くの市民の参画を得て、きれいな町づくり。安全と安心の環境をつくり、三原市が住み良い町となり、生涯この町に住みたいと思える、また誇れるような町になること</p> <p>市民協働のまちづくりの概念が今ひとつはっきりしないが住民自身が組織的に立ち上がることは必要である。住民のくらしを守り、向上させることは行政の責務である。これを前提として、住民自身が要求・要望を行政だけに押し付けず、自らの手で解決しようとする姿勢と意欲をもちつつたい</p> <p>町内の1人ひとりの力により安心して安全な暮らしが出来るように皆で協力して行くこと</p> <p>自分達の街がもっと住みやすく、みんなが安心して暮らせることになる。 活動を通して子や次の世代のみんなが郷土(日本)を愛する心が芽生え成熟すること。</p> <p>①安心して暮らせる又思いやりの精神を持つのではないかと ②将来の生活が少しでも不安の解消に役立つ ③目的意識の向上が一人一人の活性化に寄与する</p> <p>町民で出来ることはみんなと、自治会長としてクリーン作業等行って来て、最近はいろんな人が手伝ってくれるようになってきた。何でも市に要望すればよいという事は少なくしたい</p> <p>自分も市政へ参加しているのだという参加意識</p> <p>地域にまとまりが出来、皆で助け合う風土が生まれる。</p> <p>市民が協働することにより親睦を図り相互扶助の意識を高める</p> <p>市民一人一人が身近に出来る事で達成感があるような目的を作ってまちづくりが皆で出来たら良いと思う</p> <p>行政の規格による町づくりではなく市民の感覚の町づくりが期待される</p>
--

<p>④その他</p> <p>三原市民1人1人のつながりを強め、三原市をよくしていこう。そして住環境をよくしていこう。ストレスのない健康で平和な町づくりにするためにはよい運動だと思っています</p> <p>高齢化した地域での活動支援、自己啓発ができればよいと思う</p> <p>多くの町民の参画が期待できる</p> <p>お互いに支え合う、助け合う、いわゆる日本人らしさが希薄化しつつあることに歯止めをかける意味で期待される。</p> <p>ごみのないきれいなまちが実現できるよう又ペットのフン等で迷惑のない町が出来る事期待します</p> <p>人口減の歯止・交通便の増、運賃を下げる</p> <p>情報の共有、仕組づくり等</p> <p>防災の避難場所の充実、ゴミのポイ捨て、マナーの向上、あいさつの励行</p> <p>ダイヤハイソ自治会としても、市民協働まちづくりに関する運営について、支援協力して参りますので今後ご支援とご協力を御願いたします。</p> <p>行政の効率化と良いまちづくりの為に市民協働は不可欠であり、市民協働のまちづくりに期待しています。</p> <p>市民協働組織を作りたい</p> <p>期待あり。</p> <p>弱者のために・・・</p> <p>基本的に自分の地域は、自分たちの力で自治していくというのが原則であると思うので、当町内会ではできるだけ我々の力でまち（地域）のつながりをもって多くのことに対処していきたい</p> <p>楽しく愉しく、一人ひとりが身近なことからやって見よう</p>
--

地域における住みよい環境づくり 子供、成人者、高齢者が一体化できるまちづくり。その為の施設の充実 期待しています。
共同住宅の近所の付き合い、あいさつも無い時期ですが環境等整備し集会等を設ける事により、気心も知れ、徐々に上記の不具合 解消になればと思います(町内会長でもあり家主でもあります)
10月からきれいな三原まちづくり条例が施行され環境美化に対して住民意識が高まればと思っています。制限区域内に早期に周知 啓発看板を、それぞれメイン道路の効果的な位置に設置する必要がある。その場合企業名だけでなく、行政(三原市役所名)でお願い したい。
平和で元気のいい町
「ごみのないきれいな三原」を実現するためには「きれいな三原まちづくり条例の制定」に全市民が内容を理解し、協働に実践する ことに期待する
期待は大ですが、どの部門・地域かたのしみです
公平無私で!
宇根山周辺等もっときれいに力を入れてほしい。岩海、天文台、弘法大師生かし力を入れて欲しい。観光地も目指し大勢の人の期待 出来る場所にして欲しい
宇根山一帯の観光にもう少し力を入れて欲しい
まちの活性化を推進し新入居住者の参加促進
住みやすい環境
生きがいがあり、住んでよかったと言えるまちにしてほしい
木や花により気持ち良く歩ける又運転できる環境、言い替えば「ゆとりを感じる」事ができる地域作りに発展していく
若者が住みたくなる様な町づくりで活性化できれば
地域に合った住みよい町になる。地域の活性化による三原市の発展。
老若男女みんながいろいろな行事に参加できたら。
支所の方と連絡が密である
美しい三原市になるよう希望します
市内・町内の活性化
市(三原、久井、大和、本郷)巡回バスが広くゆきわたり、利用が増す事を期待したい。高齢者にとってはありがたいシステムで す。
三原の活性化
市民の活性化対策

【期待しない・不安など】

①協働の中身が見えない
協働のまちづくりと言われるが現在の様な考え方で協働では何も期待するところが負担を感じるのみだ!
必要な事であることは十分理解しているつもり。しかし何から活動して良いかわからない
具体的な活動がよく分からないので特にこれについての期待は現時点でなし
計画がわからないので期待していない
協働を知らない
市の活性化プランを明示し協働プランを具体的に提示すべきではないか
市民協働のまちづくりの内容がわからない為。?
「市民協働のまちづくり」と言う言葉は初めて聞きました。むつかしい言葉です。どのような行動をとれば協働になるのか、何を行政 が市民に期待しているのか、理解できない。

②その他
あまり期待していない
町民意識としては今のところ期待感はない
よくわからない
市民の啓発が今一歩では?
三原市全域で同じ条件での環境整備が必要だと思っていたので、何年か計画で整備されるのか?(例えば沼田川の河川敷)など 一つの目的を達成するために各部分(健康推進とか)が補完・協力し合うことだと思いますが、ボランティア活動だけに期待するの は?
全く期待していない

窓口である自治会長は結構大変です
個々においては関心あると思うが、具体的な協働のまちづくりは困難。特に若い層の協力がむずかしく、時間をかけて徐々にすすめるしかない。
駅前活性化に市庁舎移転との方針があるとのことですが現実問題市民の7~8割は疑念をもっているとのこと。もう少し、市民協働のまちづくりを言うのであれば計画見直し、市民参画の仕組みづくりをしてほしい
すみません、三原に来たばかりで三原のことがまだわかりません
市民の意識がまだまだ。改革が必要
特になし
地域によって考え方が変わってくる。街と農村とでは差異がある。それぞれに合ったものでなければならない
高齢化のため、期待に応えることはできない
防災マップを再度作成し配付して欲しい
自治区自体でいろいろ実施している。あまり期待はしていない。
よく分かりません
若い人が少なく、高齢者が多くなる現実でまちづくりに対する期待はあまりない。現状維持がやっとなのである
期待し、要求したら、叶うのですか

(2) 市民協働のまちづくりに対する要望・アドバイス

【アドバイス】

①行政と市民の関わりについて
行政と市民がもう少ししっかりしたつながりを強めてゆくこと
町づくりの内容等は、行政が中心となって動き、市民が参加しやすい行事計画、参画しやすい仕組みづくりに取組んでほしい
行政の一部の担当課だけで行うには、スタッフ不足である。庁内全課でそれぞれの立場でどう対応出来るかを考える必要がある。
住民側から直接意見等を聞いて考える場が必要ではないでしょうか
世の中はgive and takeで成り立っています。最近はtakeを求める風潮がありますが、takeが先では効率が悪くなる為、giveを先に行う風潮づくりが大事です。効率的な市民協働を目指すにはまず各人が出来ることは各人が行う仕組みを作り、徐々に大きなグループの仕組みを作っていくことが手順だと思います。個人の仕組みが出来ればmグループ（組織）の施策が不要となるものも生じると思います。
行政が各自自治会へ足を運び、支援が必要では。地域に居住の行政職員を窓口とした苦情処理も有効ではないでしょうか
市民と（町内会）行政とが情報を共有できる体制をつくる必要がある。
市の施策として地域活動を重点にすること。中核施設中心型ではなく地域の諸施設を充実させ身近な所で子供、高齢者が活動できることが大事である。
独自に町民が行っていることは行政には見えないことも多いので情報として細かく知っていてほしい。頑張っている町、何もしない町を認識しておくこと
基本的に市民が中心となってまちづくりに取り組むので、それを行政がサポートしてほしい。
身の回りで、不平・不満・不足に思っていることを取り上げ、それを市民協働で解決できるシステムがほしい
見通しができる迄は、行政がリードしてほしい。 情報、助成制度はどの地域にも公平にほしい。
各地区ごとに行政側の担当職員を一人一人つけて、対応したらどうか？
・一人一人が意識してまちづくりが出来るよう情報をわかりやすく伝える方法を考える ・各地域毎に機会をもうけて説明会や情報交換会を開催(町全体でなく区毎の情報交換会も必要)
問7.2「基本的に行政が中心となってまちづくりに取り組むべきであり、それを市民がサポートするのがよい」の実現
行政は補助金を出しておけば良いという発想をやめ、地域の活力を高め、自らが地域を守るという様々な助成をしてほしい
行政からの積極的な市民へのアプローチが必要。

②人材・資金について

個人主義の風潮化でリーダーシップを発揮するにはエネルギーを要する。それを行政で支えリードするものがあればやりやすい。
資金、情報、システム
赤字をかかえた市なので、むだ使いをせず、有効な活動を

<p>・当町内会だけであろうか、日々細々と役員不足の中運営しており、その任意団体との協働のまちづくりを推進するには限度がある。市民への意識啓発やリーダー・ボランティアの育成を図るべく実践を通じて培いたい</p> <p>・「協働」という美言でなく、先ず自分で出来ることは自分でやる。日々の積み重ねが基本にならなくてはならない</p>
<p>①町内会のリーダーの意識改革が必要であり、勉強会の実施</p> <p>②若い人の意識、行動が積極的に取り組む為の会合が必要</p>
<p>組織を運用するには交付金を継続して支出することが必要</p>
<p>市民に対しての教育(助け合う心の教養)特にアパート住人は町内会組織に加入しない。自分勝手な生活をしている。協力性がない。</p>
<p>高齢者でも働ける場所づくり。働くことによって生きがいを感じる。</p> <p>色々な趣味ができる集いの場所づくり</p>
<p>若い人から年寄りまで各々出来る範囲が違うと思う。従って、協働出来るメニューを増やす</p>
<p>積極的にリードする人材(行政)が必要。小さなことから浸透させる</p>
<p>地域活性化のための情報を教えて欲しい。頑張っている職員さんも多いが地域活動に参加されない職員さんもまだ多い。参加されないと地域になんでも押しつけていると住民の方は思うので大変でしょうが参加するように働きかけて欲しい。助成金等の申請手続きを簡単にして欲しい</p>
<p>備蓄品(食料・水等)の整備助成をしてほしい</p>

③その他

<p>市民協働まちづくりが進んでいる自治体の様子を映画とかビデオの上映とかして市民参加の勉強会とかもって意識改革をうながすとかそのためにその年の役員されてる人に日曜日にそういう集いをもつ事を計画されてはどうか。何をどうするのか形がぼやけているのも事実だと思います</p> <p>行政等による一層の呼びかけが必要と考えます</p>
<p>組織に入らない方が生じその方々との協働作業ができません、全住民による組織構築が望まれる。・全員が該当者(主体者)であるという意識をねばり強く向上させることが必要である</p>
<p>5月22日頃の町内一斉清掃作業、6月12日頃の空き缶等散乱ごみキャンペーンが1年間に1回ずつありますが年末にもう1回行う事により市民一人ひとりが環境美化に自主的かつ積極的に取組むための啓発の一助にしたらどうですか</p>
<p>その昔行われていたが今はなくなった地域の行事(イベント)の復活、あるいは今も行われてはいるが、今以上に活性化させるための企画~そのための組織づくり等、ボトムアップでの取り組み、それを行政がバックアップするという図式が大事と思われるが、※行政から地域へのPR(地域への定期的な出前説明会等)も必要と思うし、定期的な情報(成功事例あるいは反省事例)の提供も要るとされる</p>
<p>以前は三原市に三菱や帝人三原、東洋繊維と三大企業があり、市内にも帝人通りと名づけられたところもあり、これらの企業に働く若者達が多く、また企業が行うイベントが市民の楽しみにもなっていた。現在は、景気も悪く、企業が行うイベントも少ない。まちづくり活動も必要であるが、まず企業誘致により、三原市を元気ある活気のある町にする必要があると思う。また、若い親子が遊ぶ場所も少ない(三原市の近所に)</p>
<p>例えばどのようなまちづくりをすればよいのか、何をすればよいかなど、具体案と資金面であればよいと思う。先進例を報告する等</p>
<p>市内を見渡すと草ぼうぼうの空地が多すぎると感じます。大変な資金がかかるとは思いますが、市・県の私有地等はできるだけ芝生を植えたらいかがでしょうか(ハワイ等はかなり徹底されている)</p>
<p>協働でまちの活性化に尽力</p>
<p>特にないが、町内会の規模について適正な戸数のアドバイスがあればと思います。(会長等の人選に苦労する)</p>
<p>高齢者の多い町にふさわしいまちづくりを考えるべきである</p>
<p>三原の街をもっと活性化するアイディア・グループ育成等々を具体化して行くべきだと思います</p>
<p>市長以下市職員の意識改革が必要!</p>
<p>1. 協働まちづくりに対する専用窓口等の設置</p> <p>2. 協働まちづくりに対する知識の研修会の開催(事例も含めて)</p>
<p>的を小さくした方がよいのでは</p>
<p>「きれいな三原まちづくり条例」を普及させるには市民の啓発がたいせつである。その為には通り一遍の説明ではなく、市民の意識が持続できる啓発が必要である。いろいろな啓発行為があると思うが、一例として広報連絡文書等、また筒封、はがきの一端に簡単な啓蒙文を記載して市民の意識の高揚を図るのも良いのではないかと感じる。</p>
<p>各地域(旧1市3町)の連携が必要だと思います</p>
<p>今後の支所(久井、大和、本郷)の在り方は、どうあるべきか、周辺地区(域)の活性があつてこそ三原市が成功する</p>
<p>啓発が必要である</p>
<p>市中心部のみならず周辺地域へ人々の集まるようなイベントの企画、実施</p>
<p>市民全員が、もっと意識を高めて全員で進めて行くという意識改革が必要ではないか</p>
<p>一つ一つの団体をつくるのが先決。例・当地区で15人の団体でアダプト活動を今年から始めている。活動は地域内の国道の草刈等を行っている。</p>
<p>長期的展望に立った町づくり</p>
<p>事例紹介を含めた情報があればよい</p>

【要望】

地域性があるので、地域の声を聞いて、行政施策に生かしてほしい
3.11の教訓を生かし、災害に強い町づくりを考え、市民協働で普段から防災に対する意識を高め家庭や地域でシミュレーションを重ねられるよう結束力をどう育むか。少子高齢化時代の課題と言える。また、災害を軽減する「減災」の必要性。ハードを整備する行政主導から住民主導の対策への転換が求められている。減災のうちソフト対策では自分の身は自分で守る「自助」を第一に考え、特に避難を重視した「まちづくり指導」を御願います
現在市役所移転問題が出ていますが、協働の言葉を使う限り市民の声も充分反映されていなくてはならないと思う
言葉自体が分かったようでわかりにくい。何もかもまとめてあるのでわかりにくい。役所言葉ではなく市民の言葉にしないと理解できないと思われる
<ul style="list-style-type: none">・一部の住民（人）に偏らない。重荷にならないように組織的に動けるためにどうしたらよいか・行政職OB及び現職員は、知識と経験を生かし、地元でも積極的に動いてもらいたい
<ul style="list-style-type: none">・市職員OBの意識が低いため、現役時代に市職員としてのあり方を検討してほしい・OBの考え方で定年後は地域の一員との自覚がほしい・現役時代の役職が障害となっている
①市内にもいろんな地域がある。市街地、農村地域、海岸地域、それぞれの特色が地域性が生かされたまちづくり
今後、少子高齢化の為、高齢者・子どもたちの個別の活動に力を入れてもらいたい
桜、もみじ、秋には町外から紅葉楽しめる場所に広げてほしいものです
改善してゆくことに対して協議してほしい
協働することに対する推進効果を希望する
町全体で行う祭りみたいなものがない。各地域ごとにそれぞれ行っているものはあるが、子どもも少なくなり、あまり活気がないし、お金も動かない。町おこしを行うにはそのリーダーが必要だが、各地域においてもなかなか担い手のいない中で、町全体をまとめるのはむずかしい課題だと思う。しかし、子どもが少なくなった時代だからこそ久井町全体がまとまる必要があり子どもたちを呼び戻すイベントがほしいと思う。
行政中心にやってください
イノシシ駆除対策の会合を行い、いろいろな事例を知りたい
老人の人達も参加できるイベント等を増やしてほしい
情報を得ることや出来る事出来ない事情等夫々地域で抱えている問題があると思いますので、若い人を育てることやそのような任務に就いてもらえる努力に対し市として何らかの形で助言等が得られるようにしていただきたい
(1)と同じ（市職員の地位リーダーとしての活躍（OBを含め））
きれいなまちとなるまで運動の継続を望みます
①市は迅速な対応をする(計画方針・対策等対応を早く回答し長期に及ぶ場合は経過報告をする ②真摯な姿勢で対応する。結果も重要ですが、市民に真摯に向き合う態度が最も大切だ
人と人とのふれあい、心と健康づくりなどを通じて健康な町づくりをしたいと思う。そのためにも行政のさらなる協力を御願います
地域防災については身近な問題であるので近い将来組織を設立したいと思っている。当局の指導をいただき勉強したい。
行政がもっと市民協働についてPRを望みます
若者の立場での意見を多く取り入れてもらいたい。高齢者対象の考え方が多すぎる。福祉といいながら若者が活発に行動する機会が無く老人の事ばかりで行政が片寄っている。
宇根山天文台などもうすこし整備して春は桜、秋はもみじと季節に合わせた自然を大切に人が集まって楽しい場所をつくって大人、子どもも安心安全で遊べる場所づくりをして欲しいです
「まちを汚してやる」と思う人は皆無と思う。空缶やゴミにしても「つつい」との想いで捨ててしまう人が殆どと思う。所々にゴミ箱や吸殻入れを設置するのも必要ではなからうか？「食べ歩きのみち三原」とはいいないにしても、もう少し配慮したまちづくりも必要と思う
安全では、車からのポイ捨て（缶）があります。一般の人でもポイ捨て禁止のカンバンをすぐに持って帰ってすぐにどこでも立つ事ができるようにしてほしい
三原市全体を対象ではなく、それぞれ地区に合ったアドバイスをしてほしい
過疎の町、大和町にも元気な町になるよう希望する
三原市職員の整理

【その他】

行政からの働きかけや配付物が非常に多く、対応しきれない。市全体で一本化された行動計画に基づいて活動されているのでしょうか
特になし
きれいな街作りのポスターは不評であった
当町では町内会加入世帯の半数近くが居住が城町ではなく店だけの方、又町内居住でもマンション約11棟は町内会に加入はなく、町組織として特異であり、協働の一単位である町としてのまとまりがむずかしい
特にありません

いつも行事の時は市職員が来て下さるので助かります。やはり専門家は我々の知らない事もよく知っていらっしゃるのととても勉強になります
市道の改善、県道バイパスの建設など町民の要望が強いのに行政に届かない。財源不足を理由にあげられると何も言えない。夢もふくらまない。金のかからない夢の実現をめざしたい。
協働と言われるが行政が色々な手間を省き市民へ協力すると言った様子が多く見られる。市民の代表に非常に負担がかかりこの様な状況では市民の代表役員の担い手がなくなってしまう。協働ではなく共働でなくてはならない
よくわからない
沼田川の河川敷の整備 七宝→本市橋→納所橋→本郷（車を気にせず散歩を楽しめる歩道を河川敷に）
基本的に自分の地域は、自分たちの力で自治していくというのが原則であると思うので、当町内会はできるだけ我々の力でまち（地域）のつながりをもって多くのことに対処していきたい。その上で、不可能なこと行政サイドでやっていただければならないことをよく考えて議論を深め要望していくつもりです
参加しないと不利益をこうむるような制度は考えられないか。意識の向上だけでは限界がある
町内会にて行事一つ取り上げて見ても若い人は出てこない。ほとんど70才以上の老人です。昔は小人におやつが必要でしたが、最近では大人におやつを出さない一つと行事が終了しない時代になってきたのではないでせうか
現状、集会はほとんど無く、するとなれば屋外広場での話し合いとなります。財政難な折、小さな公民館を設置するとなれば補助等はありますか？
協働を知らない
要望書を支所に提出しても実行してもらえない
区費が高い
なぜ必要か、市民は何をすればいいのか、そのへんが皆さんわかってないようだ
わからない
担い手（人材）不足による労働力の不足分カバー！！
農村部は病院、買物等の日常生活に車が必要不可欠である。最小限近場で車が使えないと、都市部（広島市）に引っ越したくなる
高齢化が進んでいるので期待に応えることはできない
別になし
ことばでは協働のまちづくりは良いイメージだと思います。が、協働でないのが現実だと思います。その1、農協の支所がなぜ深見なのか。市の行政能力が0に近いと思う。庁舎利用のレンタル料が高いのなら減にしても良いと思うのは私だけでしょうか？？？

(3) 市民協働のまちづくりに対する不安・不満

① 行政からの押し付け感
言葉は外向けで何となく良い感じだが、本来行政のやるべき仕事の市民へのおしつけのような感がある。市の職員も自宅へ帰れば一市民なのだから、率先して町内会・自治会の役員をつとめ、地域の実態把握につとめるべき。町内にも市職員のOBもいるが、自分の興味ある方面へのみの動きで、地域のための活動には一切の協力が見られない。本来こういった人が時間も知恵もあるのだから率先してやるべきと思うが…。
地域が市の下請け
今後市からいろんな案件が下されて来る様に感じる。町内を預かる者としては大変な労力がかせられる様に思う。これから先お世話をしてくれる人がだんだん受けてもらえなくなる様な気がする
行政の下請感？
最終的に、押しつけられるだろうという不安が持たれる
・ かけ声だけにおわるような気がする ・ 対等な立場などありえないと思う
地域組織の負担が大きくなりほしくないか
上記の様な状況では本当の意味での活動に一般市民は違和感を感じていると思う。もっと一般市民が納得する様な体制又説明が必要と思う。
市民と協働を押し付けられてはたまらない。
行政は精神論のみで、自分達が汗をかき事をしないと見える。
行政の下請機関化 ・ もっと市職員は地域活動に積極的に参加すべきだ ・ 個人情報の保護の観点で、情報を共有化できない
町内会の負担ばかりが増えつつあるような気がします
協働の意味をよく理解していないのでよく分からないが、行政と公共、市民＝ボランティアのイメージだけが強い
強制的な活動はやめてほしい

行政が市民にすべての丸投げ
金を出さず、住民組織への押し付け

② 周知・理解度

まだまだ、協働のまちづくりに不安がある。具体的に期間を示して実施し、果たせない場合はその理由を説明し、お互いに理解と協力をすることが望ましい

“市民協働のまちづくり”の具体的内容が理解できない。三原・本郷・大和・久井の合併によって市民は行政が遠い存在に感じている。協働とは縮小する行政（サービス）を市民の力でカバーしようとするものか？安心安全な市民生活を作るには地域の再生（地域社会崩壊しかけている）が必要なのは

言葉は聞いたことはありますが、内容がよく分かりません

PR不足

「きれいな三原まちづくり条例」とは何を目的として制定されたかを把握することにより不安は解消され不満もなくなると思う

協働という意の解は何か 偏狭にならないか

必要性が不明確である

市民協働のまちづくりの必要性がよく解らない。限界集落になった状態の地域に協働と言われてもピンとこない

一部の熱心な市民の意見が取り入れられ進行していくことの不安がある。生活に追われている人は参加していない

三原市が何かをしてくれるのではなく、自分達が三原市をどうしていくか、どう創っていくか考える啓発ができるか？

(市民協働のまちづくりは)何をやる団体なのか？市中部・町中部が良くなる事が多いのでは。小さな地区こそ目を向けるべきだと思う。リーダー云々とか若手が地区にいない。住めない。

③ 過疎化・高齢化・人材不足

町民の高齢化により自主活動が難しくなっている

自町内会は高齢少子化が有る町内会なので現状では不安である。自町内会は70世帯で65歳以上が76人以上であり活動する出来ないのです。小学生1人中中学生2人児童数です。

高齢化中で意識の浸透を計る難しさがある

若い人の参加が少ない

仕事をしている家庭が多い自治会では、なかなか皆で活動する事がむずかしい

私たちの自治会でも高齢化が進み、協働まちづくりに参加できる人も限られてくるので少し不安はあります。若い人たちは仕事等できがしく自分の事で精いっぱいだしまちづくりに目を向けてくれるかも不安があります。

地域に負担が重くなるのでは。組織の老化で何も意欲のない人が増えている。

若年層のメンバーは仕事に追われて地域の行事に参加しにくいため定年を過ぎた高齢者中心の活動になりがちである

当町内は世帯数も少ないうえに高齢者世帯が約4割を占めていることから、近年の町内活動においても参画者が年々減少傾向にあるので、協働が難しい状況となっている。

高齢化が進み、積極的な取り組みが困難

仕事の関係上、会議等に出席できない

協働意欲の無い方々への対応と、連帯の低下

老人化が進み、空き家が増加しています。町内の取組みではできない。子育て支援が充実し、若い人が活躍していく町づくりが望ましいが、現状は細ぼりです

若年層のボランティア活動への参加が積極的でない

・少子高齢化が進んでおり、地域にて様々行事計画をしても、世話人参加者が少なく、盛り上がらない。
・最近の若い人は家族中心で行動するが、地域連帯意識が薄く、町内会等の組織には加入しても、役員等の世話になりたがらない。場合によっては、地域の町内会では役員は高齢者ばかりになる場合あり。

高齢者が年々増えて行く中で協働でまちづくりをして参加して頂くのに、不安である。町内各種団体と一緒に話し合い参画しやすい取組み方をしたいが今後不安が残るそう

何かを始めると、特定の人に負担がかかるので、協力してもらえ人々をどう確保するか

私はよくまだ分かりませんが(町内会長7ヶ月目です)町内会に属していない人がアパートで100名以上、その他で20名以上います。これから組を止める人は増え続けるでしょう。(病氣、高齢の為)困りました。何とか止めている人に入ってもらおう対策を考えたいものです

住民組織(町内会)からの脱退者が多く、一部の住民に負担が掛かる様になり、組織の維持が困難になって来ている。原因は高齢者だけでなく若年層にも町内会に加入しなくても困らないという考えが有り、町内会の存在の意味を理解してもらおう様啓蒙活動を行う計画であるが、学校教育(幼、小、中、高校)でも、その必要性を教えてもらいたい。

わが町内会には20代の若者がいない。したがって小学生もいない。大半が60代以上の世帯である。まちづくりに協働する人材が不足している。

高齢化社会に伴い、若い人の担い手が少なくなり、高齢者の負担が大きくなる

今後のまちづくりの担い手が少ない

少子高齢化、特に高齢化が進み、災害時における非難等、農業問題、環境整備など問題は多くあります。町民皆の協力で取り組みたいと思いますが今のところまだまだです

①年々高齢化が急速に進み意欲が欠如する ②「なぜ」必要なかをもって一人一人の意識の高揚に欠ける
高齢化による活動が出来なくなる
リーダーを先ず育てる
多様な場所も同じだと思うが、とんとん年を取っている。口は出ても手が出ない。町内会組織を含めて高齢対策も考えていくべきか？
推進の中心となるリーダーの人材不足を感じる
都市中心の行政になりつつと思います。過疎地とはだんだん過疎になり後継者は定住せず家は空になり高齢者でこの先不安です
高齢化により活動できる人が減少しこれから活動が維持できるか不安。地域住民だけでは活動に無理があるので人的援助も考えて欲しい。地域では行政がすべき事を住民に押し付けているという意見もある
高齢者の多い地域、リーダー不足及びやる気の無い人をどうするか
住民の高齢化によって活動がしにくくなる事が不安である
地域によって高齢者の増加による担い手（人材）不足。それによる労働力不足。
私の地域は住民22名中80才以上の者が27.2%。70才以上を含めると40%を越す状況の中で体力的な面、判断を必要とするような活動が出来ない面があるので、そうした面での理解をしてもらいたい
小学校は統合の予定でなくなり周りの家は空き家が増えていく状況であり過疎化がだんだん速くなっていくような気がする
高齢化により参加出来ない人が多くなっている（日々の暮らしに精一杯で外出にも不安を訴えている）情報が行き届かない。回覧してもサッと目を通すだけで気に留めてない人が多い
市民の高齢化と地域の過疎化
地域の高齢化で活動がむずかしい
小さな村落では参加が難しくなるのでは？
地区の高齢化をとらまえての市民協働のまちづくりを考えていかなければうまくいかないと思う。
高齢化による生活体様など
誰の為に町づくりか？誰が動くのか？老々介護で忙しいのに何が出来るだろうか？
私どもの町内会も高齢化がすすみ、高齢者世帯が多くなりました。町内会・各組の役員選出等難しくなっています。また、近所同士の付き合いも希薄になりつつあるのが現状です。だからこそ、協働のまちづくりが必須となるのですが、その立ち上がるエネルギーはあるか不安です
町内会役員への負担が多すぎる。高齢化により町内会行事等への参加者が減ってきている。若者が参加しない。特に小中学生の保護者（とりわけ父親）の参加が全くない
ボランティアとして参加でき、まちづくりに熱意をもって参加できる人が少なくなりつつあります
人材育成に於いて、協働まちづくりのリーダーの選出が、高齢化に伴い、負担になることから、入口のところで行き詰まりはしないかと案ずる。

④ その他
暮らしの安心と安全のために業務と組織を抜本的に見直し「親切・迅速・正確」な地域住民のサービスの実現に全力を挙げていただきたい。世界一の長寿国社会を実現した。我々の新しい課題は「長生きを喜べる社会」をつくることであります。そこで、市民協働の地域づくりです。糸崎駅西町内会が毎年「みんなの力で明るく住み良い町づくり」をスローガンに基づき、地域に根ざしたコミュニティ活動の活性化を目指しています。平成13年(2001年)3月吉日「道の駅」を糸崎地区にという元市長山本清治様に陳情書・署名を提出しました（別紙）道の駅が建設され多くの住民は喜んでいますが、反面そこから発生する地域に及ぼす環境問題(24時間使用のトイレの汚水問題等、騒音・降下ばいじん)の影響を一つ一つ解決していただきたく、重ねて御願い申し上げます。危機管理室・まちづくり推進課の皆様で現地（生活道路・排水溝の改良・整備）早急に視察していただきますよう陳情いたします。
町内会長は一年任期で私自身何も分からず何もかも初めての経験でたぶん一年任期が終われば、なんとなく町内会長の役割等がわかって次期会長にバトンタッチして終わる様で、何も出来ないと思う
地域社会が複雑化、多様化している今画一的な行政サービスだけでは結局は計画だけで終わってしまうのではないかと地域がかかえている課題や問題点に取り組む地域活動（例えばNPO法人や非営利の団体等）の立ち上げやそのための説明等のPR活動も必要と思われる。
ありません
①市民は自助・共助の意識がやや低調と思う。自分達でできることは取り組む気概が必要です ②市民意識の変化で抗議・苦情等が増加することが予想される
よくわからない
沼田川の堤防の草刈り→年2回で道路から1m程ではダメ。道路幅も狭く、草が長くなると危険の箇所が多くある。長期計画を…実現して欲しい。→市庁舎を考える前に実現すると遊歩ができる
このまま三原市街地がさびれると心配してます
行政があまり立ち入ることは問題ありと思いますが、国政・愛国心・親子関係等で役立つ情報の提供・啓発は必要でしょうね
しかし当町内会からは市議員さんが出ておらず、一部の声の大きい市議員さんの地域だけが優遇されるようなことがあってはならないと思います。市民協働のまちづくりは、平等公平の原則が大切だと考えます
一部の人間の利害に対し不安です

地域住民のコミュニケーションの不足
①利害関係がからむ可能性がある。私利私欲で動くのではなく、純粋な気持ちで対応することが必要。 ②リーダーが方向性を見失う可能性もある
人間としての心、気持ちが日々離れていく事。行政の方は地域活動に参加し、共に生きる事。行政の方はリーダー資格を得て共に生きる事。
特になと思う
三原市にはほかの市(10万人)にはない宝があるがそれが生かされようとしていない見えてこない!
上記に関連し現在ポジティブな様子が感じられない
地域により環境や生活内容も異なり、地域別の目標設定が必要に思う。特に喫煙区域の設定に関しては、急ぎすぎると思う。又取り締まり等に関しては、身分を証明する物が必要に考える。
身体が動けるうちは良いけれど、車が使えない状態になると不安である
まちづくりの一貫として新たに組織を立ち上げるとき、支援をいただくと後処理(報告書)がめんどろになり協力者が積極的に出てこない。無理をしても続かない
職員の怠慢?
県土木と連絡が不安です
参加者が限定される事が多い
三原市の破産
不安はない。市全体をどういう方向に持っていかうとするのか構想(ビジョン)がよく判らない。明確にした上でもっと地域の組織を活かすべきと思う。
自分の身の回りにもゴミが散乱していた事がありこの運動が出来るかどうか不安である
市役所の職員さんもう一市民としてもっと地元の活動に参加、リーダーシップを取ってほしい。市民協働のまちづくりの方向性も今より見えてくるのでは。
何をしても先立つものはお金です。何かと市へ出向いてお願いしましたがあまりも予算が少ないと思います。
・市職員OBの意識が低いため、現役時代に市職員としてのあり方を検討してほしい ・OBの考え方で定年後は地域の一員との自覚がほしい ・現役時代の役職が障害となっている
このたび、推進計画を何故見直すのか、理由、説明を開示されるべき。
昭和と平成の流れが違う。昔は良かった
市民活動(町内会)団体などを支援するための助成制度の充実の展望がどうなるのか不安である
地域住民の関心がうすいので、実情に合ったものでないと、賛成が得られない。当局の指導内容を期待したい。
よくわからない
個人個人考えが違うので、何事に於いてまとめる事が大変だと思います
協働を知らない
船木の狭い道を広くする。狭い町の草刈実施(中学生通学自転車に危険。場所:船木雇用促進線路渡り、養老から芳田に行く道)
年齢構成が片寄っており、高齢者中心の行事、考え方が中心となっている。将来性が無い。
問6でも書きましたが研修会等にも参加しても旧市内の参加率はとても少ないのではないかとと思われるが、もっと参加率を増やせるような努力が必要ではないか
わからない
防災無線がついていても外では聞こえない。広報車で通達してほしい
継続できるかどうか
忙しい中では集中できない?
不安はありません
市道・町道のよくのびた草が美観をそこなっている

(4) その他

【協働のまちづくりについて】

①要望

住民組織活動の報告書だけで費用の領収書等の添付はなくても良いのではないかと。リーダーの仕事の範囲が多すぎる

行政がごく一般の市民の声を聞くといった様子が見られない。代表者が言った意見要望ですら検討すると言った言葉で終り、すでに5年近くになるが改善されない。本当に市民のための行政なら本気になってほしい。

他市の参考資料・フォーラム等により参考にしてもいいが地域地域で現状が違っているし、もう少し地域の現状を地域に行き確認し話し合ってもらいたい

さまざまな団体からいろいろな要望があると思うが、全市的な立場からきっちり優先順位をつけて確実に実現して欲しい
こんなアンケートをするより、活動を実際にされている人の意見を聞くべきではないでしょうか
今回の市庁舎建設問題、予算のムダ使い、例えばボボロの指定管理費、生涯学習課のムダ使い、お金をもっとスリムに効果的に使って欲しい。行政がそれに取組まない限り、市民として行政には協力できませんし、市政に関心ある事を行政に意見しても聞き入れてもらえない。改善されてから次の段階に進んで欲しい
会合に必要なのは駐車場の確保（行政の会合でも駐車代金を取るのは三原市だけである）
地域へまちづくりに対する行政施策の一貫性をもつ将来展望を定めて計画づくり、継続性を実践実行すること
町・区が行うことがますます増すことのないように。 ・地域の清掃(公園も含む) ・道路についても住民からの要請で補修等町民で行うことが年々増加していると思われる。(野犬、何十年もの空き家等の対応が全く出来ていないと思われる) 行政での定期的な検査・点検が実施されていないと思われる(一般市民に密着した生活環境にまつわるもの)
長い間町の役員をしていますか？基本的に市役所職員の自治会への協力が少なすぎる。退職後も協力しようとしなさい！そんな方は下水道、その他公共工事もよく文句を言われている
行政がやる事を我々へ押し付けているのでは？と思われる事のない様な運営を望む。
市民協働の理解がまだよく把握できてない。その言葉自体は聞けれど、もっとその事について、行政が住民に理解されるように各住民組織に出向いて説明して欲しい
市がリーダーシップをとって下さい。市民に高い意識を期待されても困る
意見欄(1)～(4)全て共通するものですが、私達の町内会では老化が進み、若い者でも60才以上であります。町内会で話し合いなど催しがありますが私を含め心身の不具合により出席を余儀なくされ全員出席が難しくなりつつあります。何か良い解決策があればと思います。
申し訳ないが正直なところ良くわからない。キレイごとばかりいっているような気がします。自立した事は何人か協力者がいれば出来るし、自立つことは評価されると思います。地味な事は誰もやらない、やりたがらない。例えば周辺のゴミ(最近ではゴミ拾いは行政の指定した日は協力してもらえようになった)の放棄は一向になくならない。又草刈等も町道、県道もされない。そのために投棄ゴミが増える。地域は高齢化が進み、草刈(町道)は年2回しているが出夫は少なくなります。こんな事表に出ませんよね。都心部の方には又理解出来ない話です。行政の職員さんも加勢していただきたい。
地域での防災・福祉等は出来る限り地域内の共助で行こうと思いますが、人材の育成、資金面での補助をお願いします
担当者の方々、ご苦労様です。市内には小さな集落も数々あると思います。我々は限界集落と思っていますが、生ける力でこの集落を守りたいと思って頑張っています。行政も大変とは思いますが、限界集落の対策を考えてください。お願い致します。
まず市庁舎建設より現在の三原市の財政を考え、市民協働に！漠然としたもので今まで機能していないのがその証しではありませんか？必要なものなら市民の声が自然にあがると思います

②アドバイス

市職員がまず地域の一員としてリーダーシップをとるべきだ
市民全員を対象に、市民協働のまちづくりについて研修することによってより理解し、まちづくりに参画しやすくする必要性。
若者、子供がいなくなりつつある。高齢者によるまちづくり対策が必要です。
まず市民協働とは何か、市民にもっと知らせる必要があると思います。ほとんどの市民が何のことも、知らないと思います
①市民協働のまちづくりを進めるためには市民への啓発活動がたいせつで、小さな集落にでも要請があれば出前講座に出かけ、地域住民との連携を密にしてくださいよう御願います ②先般各戸へ配布された“美しいみはらを未来へ”のポスターは色彩が濃い過ぎて見目が暗い気持ちになる。明るい色彩のほうが美しいみはらの未来につながると思う
全体的PRを
急な取り組みにはついて来れないので少しずつ進めるしかない
市は住民組織への補助金を削減し、住民活動は住民が考えて住民でやりなさい。というような、行政のすべきことを住民へ丸投げするようなやり方はまちづくりにならないと思う。問7にもあるように行政中心、住民中心というように、事柄によってそれぞれがリードする考えがよいと思う

③その他

町内会の構成そのものが高齢解していて、活動のできる年齢層は仕事に忙しく(共働き)、町内会の活動にあまり興味をもっていない。役員を確保するのに難儀しており、従来からの活動を維持するのが精いっぱい現状。
私の町内会には寺と神社があり、こちら(檀家や氏子)との協働がまあうまく行っている。
活動内容が不明です。私自身だけが理解出来ていないだけなのか不安です。「まちづくり」とは？
何をするにしても役員、世話人が必要ですが、今我々の区では高齢者が多く、町内の役員選出にも困る状態です。これからは高齢化が益々進み人材不足になります
年輩者は自分達で住む地域は守るとの意識があるが段々高齢化して活動しにくくなる。若い人は行政に依存する傾向があり、その人達が組織を運営していくことになる。その風潮をどうカバーするか、連帯感向上を如何に育むか、頭の痛いところである。
・新興住宅地であり90%が新しく入居した地域であるため全体として連帯が低い。・各自仕事時間が異なり一斉に作業等困難でありどうしても15%前後が参加出来ない状況であり参加者よりの不満が出ている
市民協働の内容が分からないので書きようがない

町内の役員をみて、幸崎宇和島町内会は葬儀など協力体制が素晴らしいと思いました。行事を色々行っており、若者老人が一体となって活動していく町内会になっていって欲しいと願っています。
市の西の端幸崎のまちをどうすればよくなるのか考えることがあるか？
市民と協働と言えば聞こえは良いが何のことはない地自法260条2項に反し町内会を行政の下請け同然にしている。冗談じゃない。ウンザリ！
町内会が歳を取りすぎてできない
①市民の要望に真剣に対応していただき感謝はしている ②町内会役員の引受者が少なくなり苦慮しています
(自主防災作りについて) 連合町内会に於いては、2010年に防災会規約を作成。活動計画(案)自主防災組織担当役員もきまり2011年からは計画案に沿って実施に向けて進めていく予定になっています。当自治会に於いては自治会全世帯居住者、緊急時の連絡先名簿をH23年9月に作成(全世帯分作成済)
当町内会は農家と非農家の集まりで中々色々な問題に対して考え方が相違しとてもむずかしい事が多数あり困っています
町内会の要望は各課が親切・丁寧に対応していただいている事に感謝しています
現在の所は町民の高齢化と新興住宅の増加により、バランス等や思いのちがいで進行が思うほどにいけない
本件町内では“どのような活動をしているのか”知らない人が多い。今何をやったら活性化するのか、ポイントをしぼって推進したらと思います(市として)。私自身相当(本町の)まちづくり推進を問いかけても非常に悩むのが実情です。
高齢者が多く若い担い手が少なく行事等継続がむづかしい
市民協働とは具体的に何ですか？
町内会住民組織にて活動が年々最近では感心がなくなりつつある様に思われる。たとえばいきいきサロン福祉行事を毎月1回行っているが65才以上の参加で1回に35名は参加されますが若い人は参加しないのは町内費(予備費)を上げていけば若い人も参加するのではないかと考えている
リーダーになる人は勤めがあり不参加。高齢者は意欲がない
人材がない。無理に押し付けても参画しない。
ほとんどの人が勤める様になって横のつながりが希薄になり、市民協働のまちづくりがむづかしいと思う。家にいる年寄りだけでは形だけに終わりそう
行政が合併して行政の役割が見えてこない
地区住民の少子高齢化で色々な組織作りも困難と思われま
問題・テーマが大きすぎて答えにくい
アンケートを書くのによくかんがえて書いたつもりです
核となるリーダー的人材は既に各種団体にリーダーとして獲っており地域柄兼業農家が大半で多忙を極めディスカッションにとどまる。なんとか農村力を町づくりに繋げるべく人材発掘に努めたい
壮年者を主体として推進されているので意見ははさまない。
市民が中心になってまちづくりをするのがベストですが、実際はそこまでできないのが現状
今以上に世話役は増やしたくないと思う人たちが多く、現在有る物を充実させるしかないと思っている。(新たに立ち上げてみただんと活動がなくなってしまう)
考え方としては分かりますが、住民に馴染んでいるとは言い難く、理論の段階だと思えます。第一、役所の中にさえそのポリシーが浸透しているとは感じにくい。
住民組織と行政の距離が遠いのではないかと

【その他】

私達市民のために、いろいろ考えて下さり、また働いて下さりありがとうございます
道路の歩道側の草刈、通学路の安全確保
この世に生まれ、この三原の為に共に限りない人生に向って前進しましょう。
今の世の中の流れを見ると悪い事は何でも禁止になる傾向が見られる。禁止ではなくて「何でそうなるのか」を分析して防止等をまず考えるべきと思う。まちがきれいになる事は良い事だが、負担ばかり増えるのはどうかと思う。考え方が保守的といわれればそれまでだが。
日本の三原市としての人口の流入(定住)をどう考えておられるか
防犯灯について平成24年度からは電気料金のみ町内会で負担との事ですが、市で全額負担して頂きたいと思えます。
広島市東区から2年前に引っ越してきた者です。41年前まで住んでいた故郷ですが、今現在は住みにくいです。田舎は定年退職した者にとっては生活がハードです。又、近所付き合いも面倒です。ワト、ハード面も改革が必要？
(2)に続き、三原のやっさ祭りにはにぎやかで良いが、出た人たちが楽しむもの。三原で働いている人たちはその祭に出るため、地元久井町の祭への参加がでいなくなっている。子どもたちもそちらにとられ何だか地元は淋しいばかり。やっさ祭りをお盆にするのはくれぐれもやめていただきたい。
(市役所移転先土地の件) 三原市の一等地に庁舎の方が良いのか？他に三原市を発展さす要素は無いのか？このことについても全市民がなっとくがい説明等があり意見が出る様な協議会がなされたか？全市民の意が伝えられる様な方法を設けていただきたかった。(時間等、回数、場所)市長を含め、市議は、将来を責任もてるのか？
町統合で大和町のダム祭りがなくなったのは残念なことだ。ふるさとに帰ってきた時、イベントがなにもないのでさみしい。友達、お客様を招待していたのだが…